

# 上越市

## 第 7 期障害福祉計画

## 第 3 期障害児福祉計画

## ニーズ調査アンケート

## 1 調査の概要について

### ○目的

障害（児）福祉計画の作成に当たり、障害者の生活実態や福祉サービスに対するニーズを把握し、障害のある人が生涯を通じて安心して生活が送れるようにするための必要な支援策の検討に活用することを目的に実施したものの。

### ○調査対象者

令和4年4月1日現在の障害福祉サービス利用者、障害児通所サービス利用者、障害者手帳所持者（身体、療育、精神）10,849人の約13.8%に当たる1,500人を抽出。

#### 【内 訳】

- ① 障害福祉サービス利用者（18歳以上）…545人（36.4%）
- ② 障害児通所サービス利用者…320人（21.3%）  
※障害者手帳未所持者を含む
- ③ 障害福祉サービス未利用者 …635人（42.3%）  
※障害者手帳所持かつサービス未利用者（18歳以上）

### ○調査方法

- ・調査期間：令和5年4月5日～4月21日（調査基準日：令和5年4月1日）
- ・調査方法：無作為により抽出し調査票を郵送、障害者本人又は同居家族が回答
- ・記名の有無：無記名

### ○回答数及び回答率

全体…902人（60.1%）

#### 【内 訳】

- ① 障害福祉サービス利用者（18歳以上）…336人（61.7%）
- ② 障害児通所サービス利用者…189人（59.1%）
- ③ 障害福祉サービス未利用者（18歳以上）…377人（59.4%）

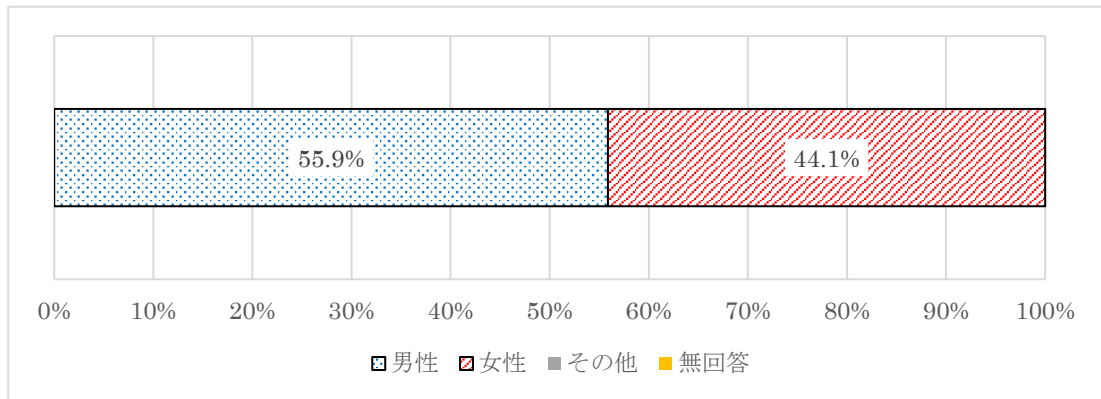
○調査項目一覧

設問分類／区分	回答者		
	【18歳以上】 障害福祉サービス 利用者	【児童】 障害児通所サービ ス利用者	【18歳以上】 障害福祉サービス 未利用者
対象者について (性別、手帳の種類・等級、難病、高次脳機能障害、医ケア、発達障害)	○	○	○
現在どのように生活しているか	○		○
今後どのように暮らしたいか	○		○
特に困ったり、不安に思っていること	○	○	○
福祉関連の情報の主な入手方法	○	○	○
今後どのような情報が必要か	○	○	○
相談相手は誰か	○	○	○
地域で生活するために必要な支援	○		○
外出時に支援が必要か	○		○
平日日中の過ごし方	○		○
今後日中どのように過ごしたいか	○		○
就労の支援と定着について	○		○
災害時の避難について	○	○	○
災害時に困ること	○	○	○
差別の経験	○	○	○
成年後見制度の認知度	○		○
今後利用したい障害福祉サービスについて	○	○	
障害児の支援で重要と思うこと		○	
意見・要望	○	○	○

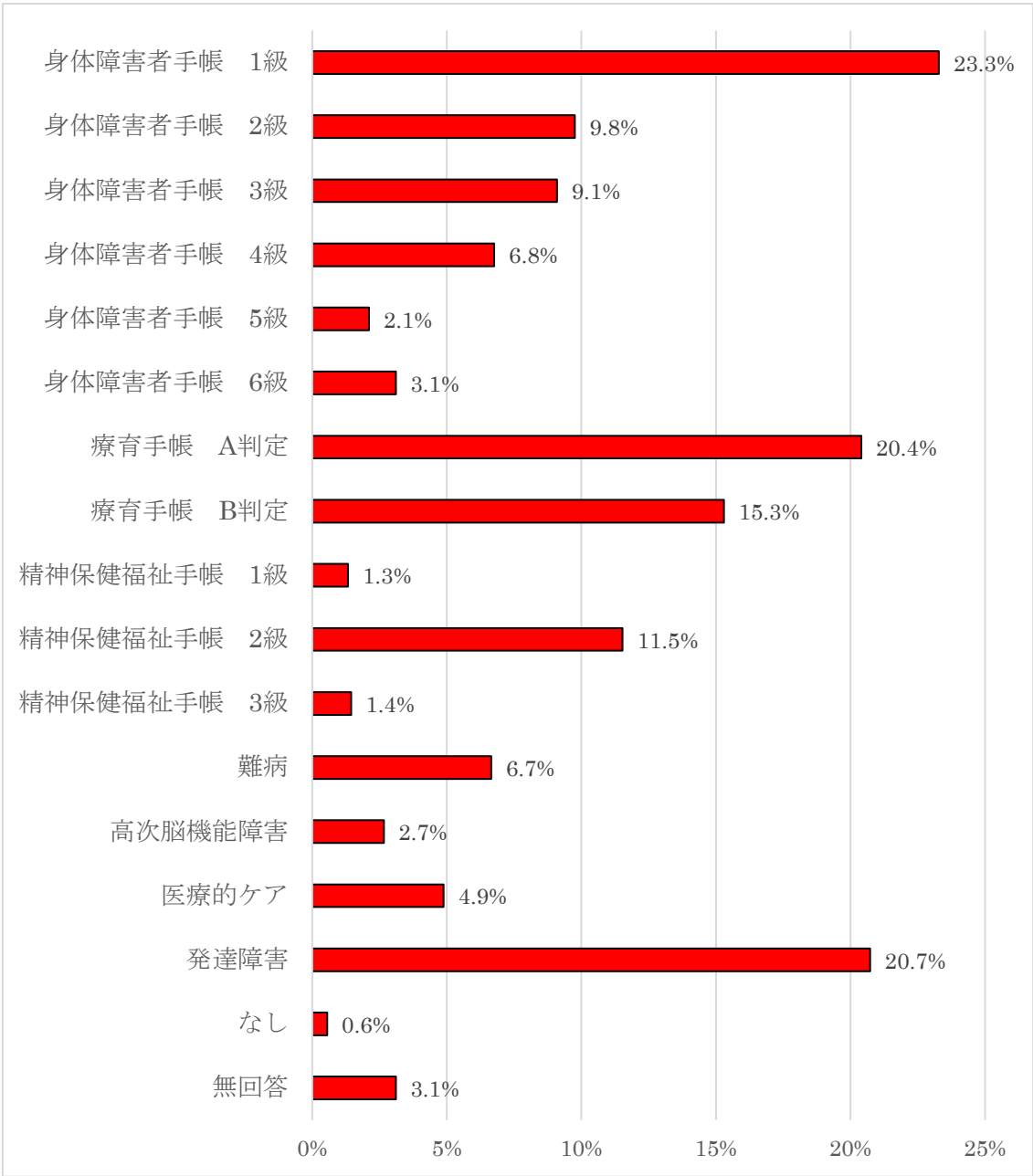
## 2 調査の結果

問 1

あなたの性別について、お聞きします。  
(以下、「あなた」とは、調査対象者ご本人を指します。)

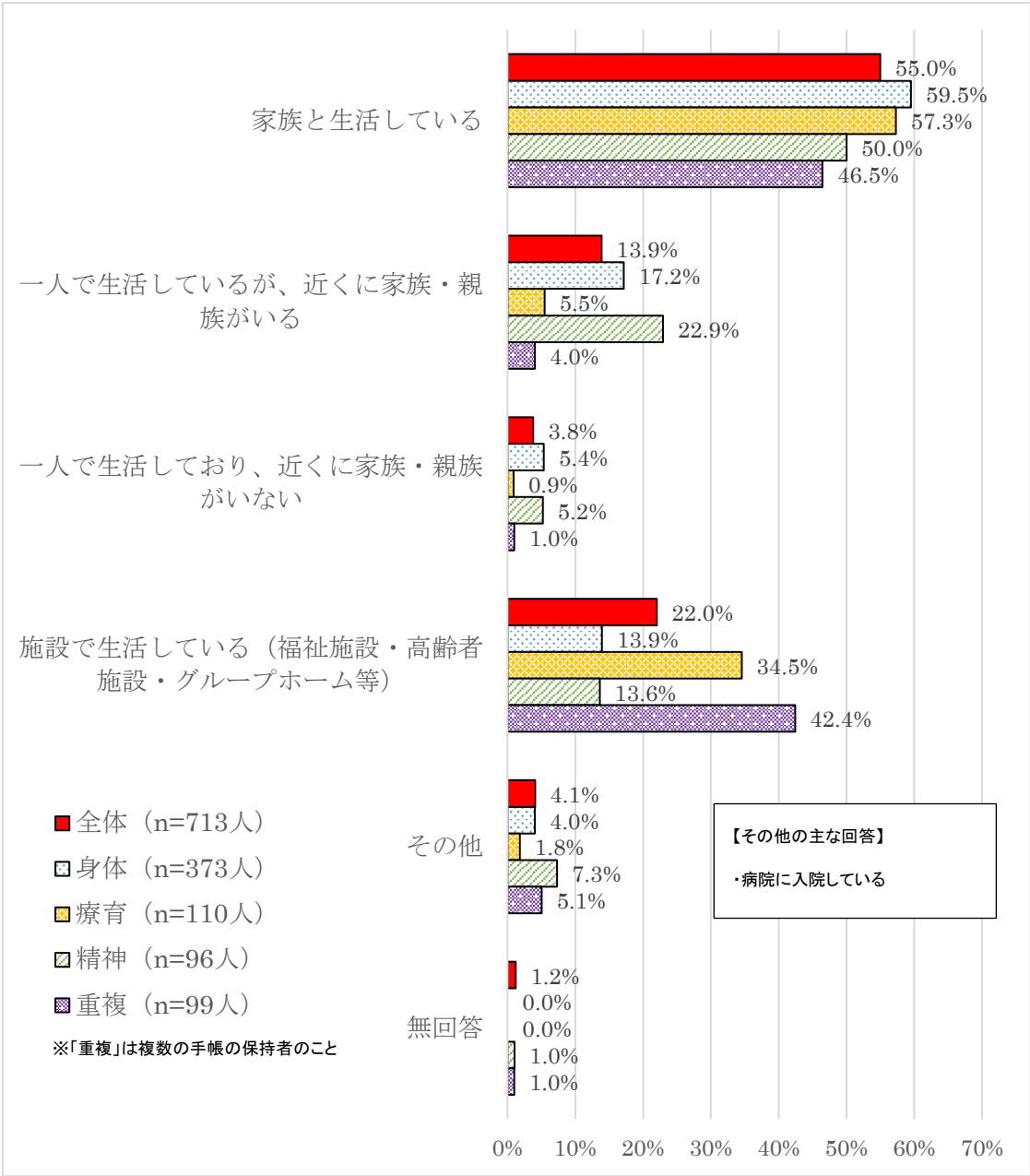


問2 あなたの手帳の種類と等級等について。(複数回答)



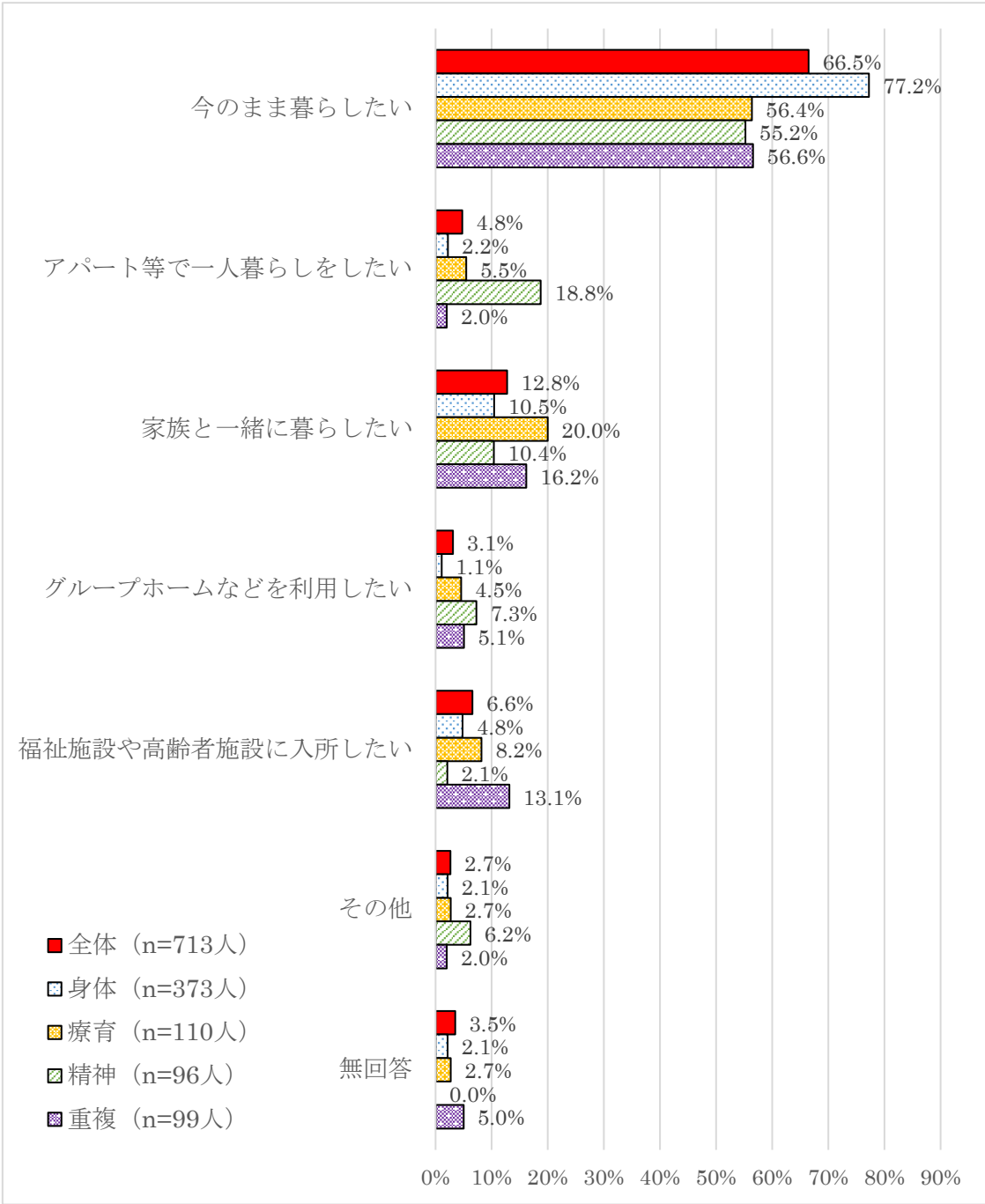
- ・「身体障害者手帳 1級」が 23.3%で最も多く、次いで「発達障害」が 20.7%、「療育手帳 A判定」が 20.4%である。
- ・手帳種別ごとの合算値は、「身体障害者手帳」が 54.2%、「療育手帳」が 35.7%、「精神保健福祉手帳」が 14.2%である。

問3 【18歳以上の方のみ回答】  
現在、あなたはどのように生活していますか。



- ・どの障害種別においても、「家族と生活している」が最も多い。
- ・療育手帳、又は複数の手帳の保持者は「施設で生活している」も30%超である。

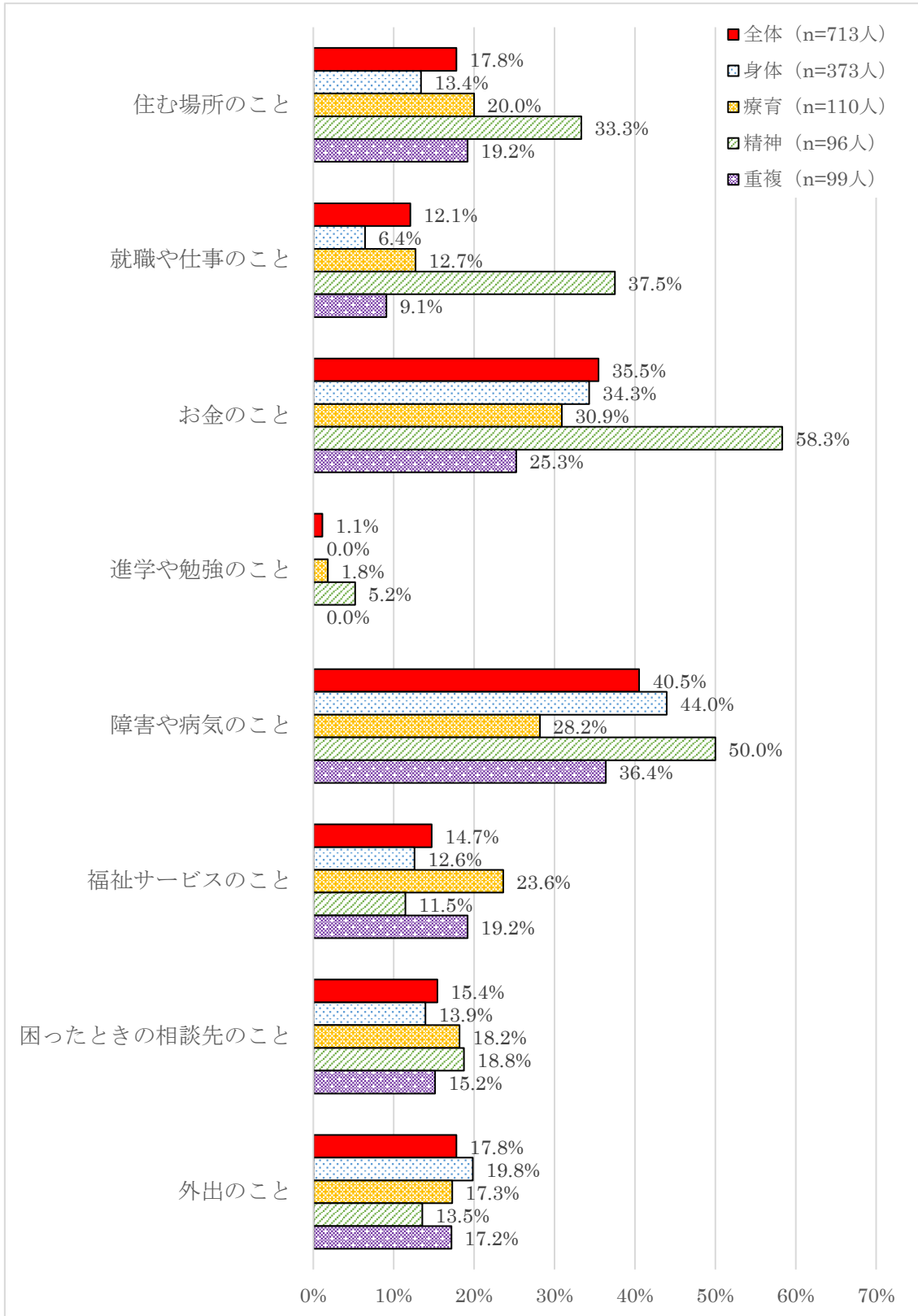
問 4 【18歳以上の方のみ回答】  
 今後、あなたはどのように暮らしたいと思いますか。



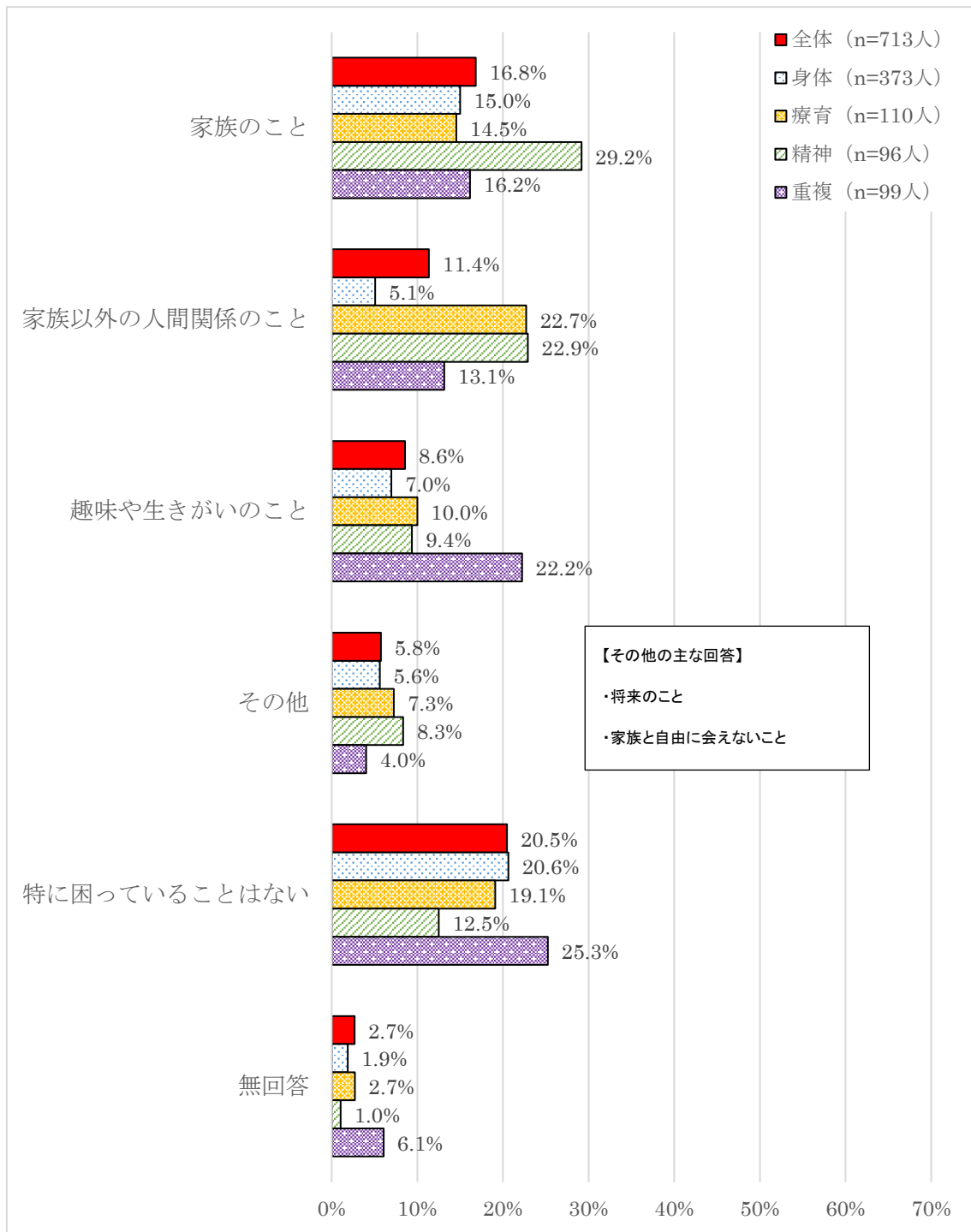
- ・どの障害種別においても「今のまま暮らしたい」が最も多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳の保持者は、他と比べ「アパート等で一人暮らしをしたい」が多い。
- ・全体の「グループホームなどを利用したい」「福祉施設や高齢者施設に入所したい」の合算値は9.7%である。

問5 現在、特に困ったり、不安に思っていることは何ですか。(複数回答)

【18歳以上の方の回答】

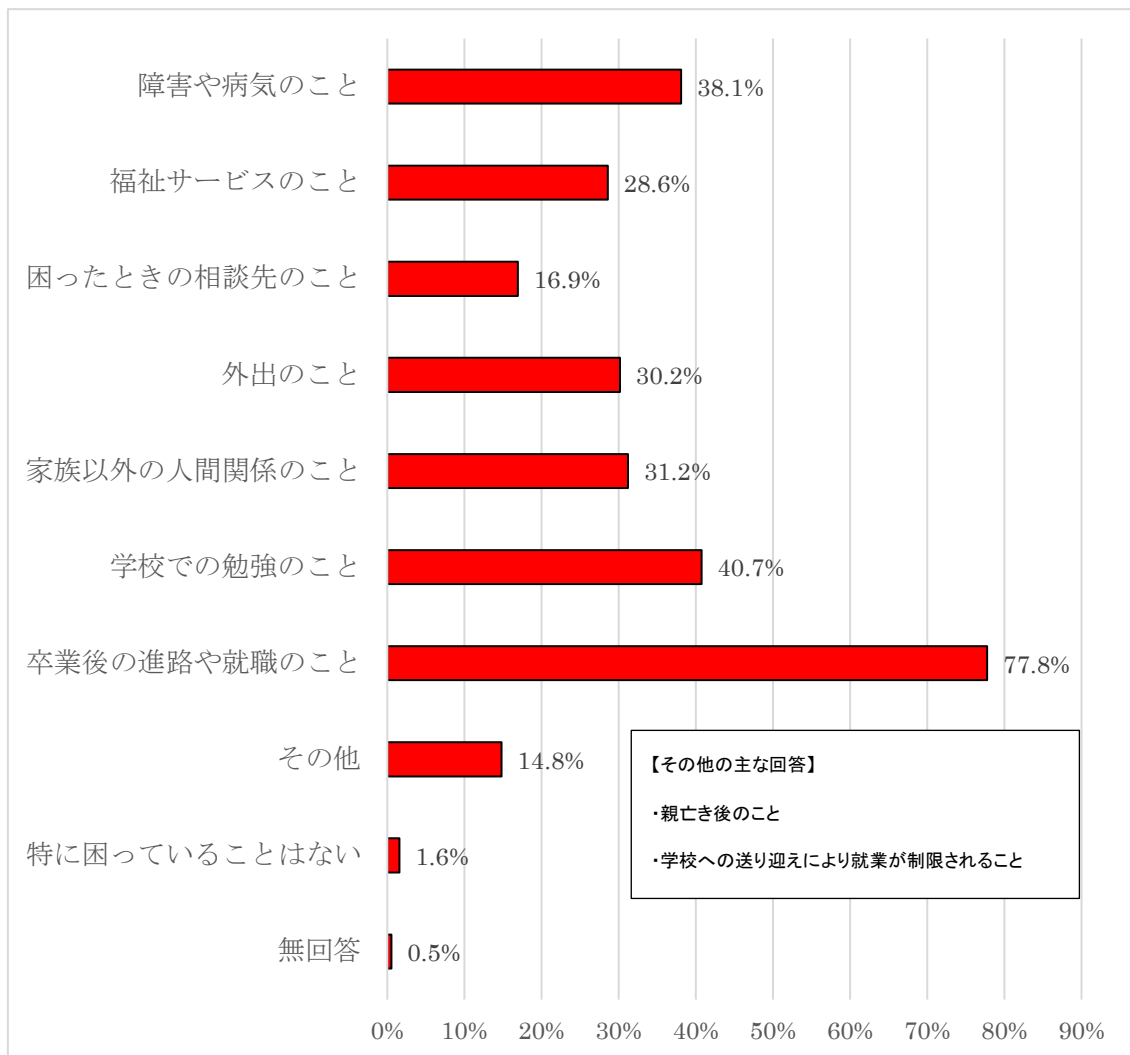






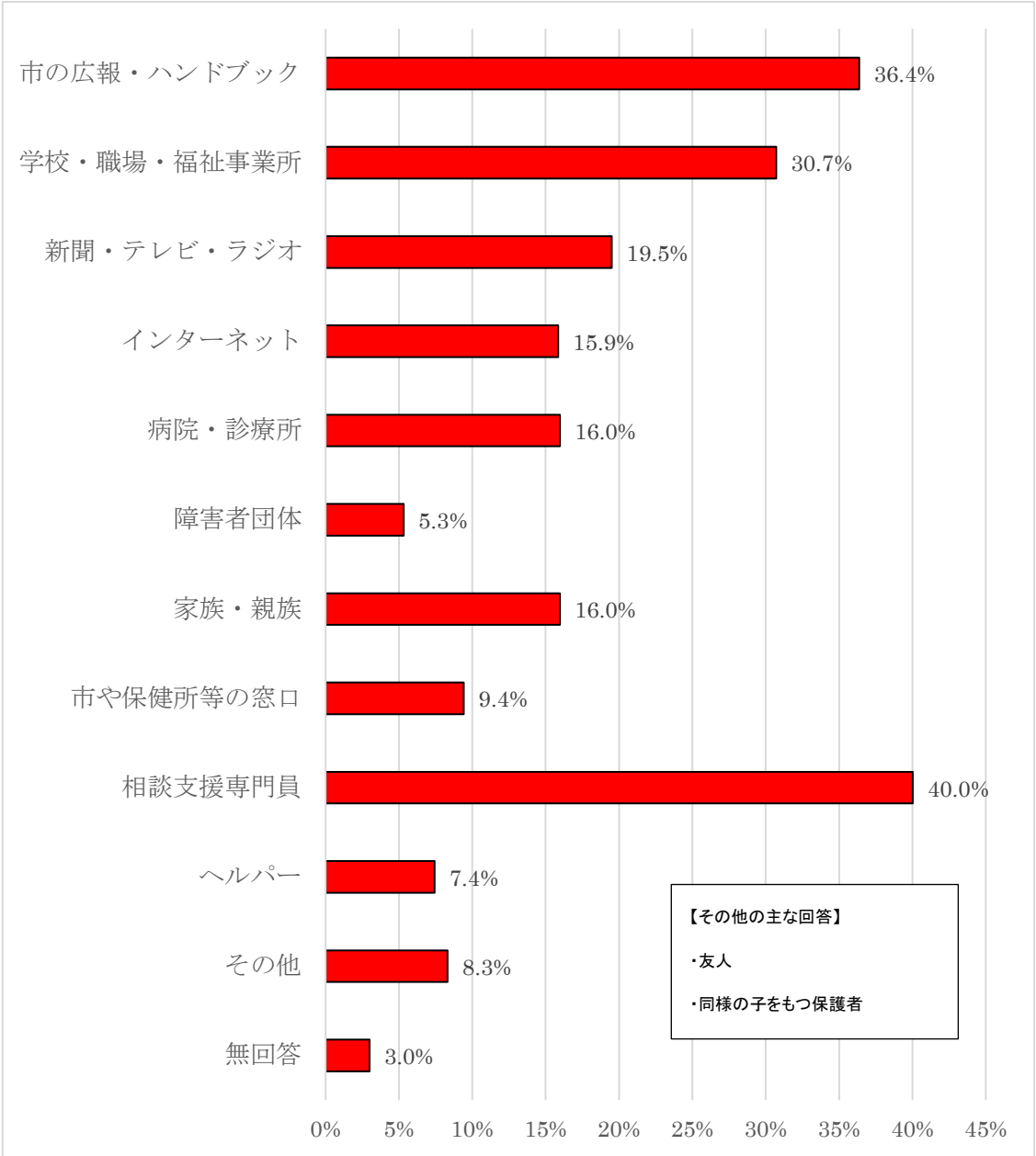
- ・全体としては、「障害や病気のこと」が最も多く、次いで「お金のこと」が多い。
- ・療育手帳、又は精神障害者保健福祉手帳の保持者においては、「お金のこと」が最も多い。

【障害児通所サービス利用者の回答 (n=189人)】



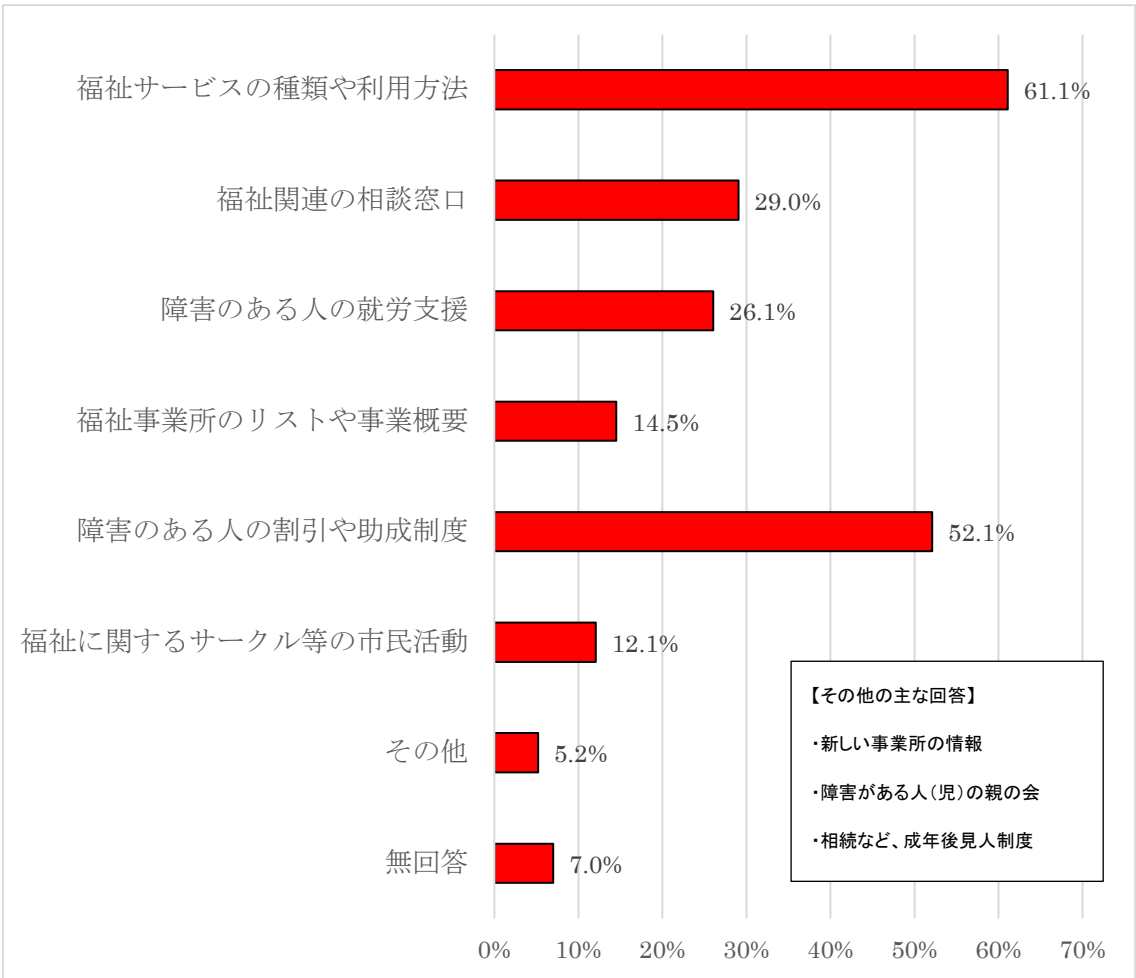
・「卒業後の進路や就職のこと」が最も多く、次いで「学校での勉強のこと」「障害や病気のこと」と続く。

問 6 福祉関連の情報を主にどこから入手していますか。(複数回答)



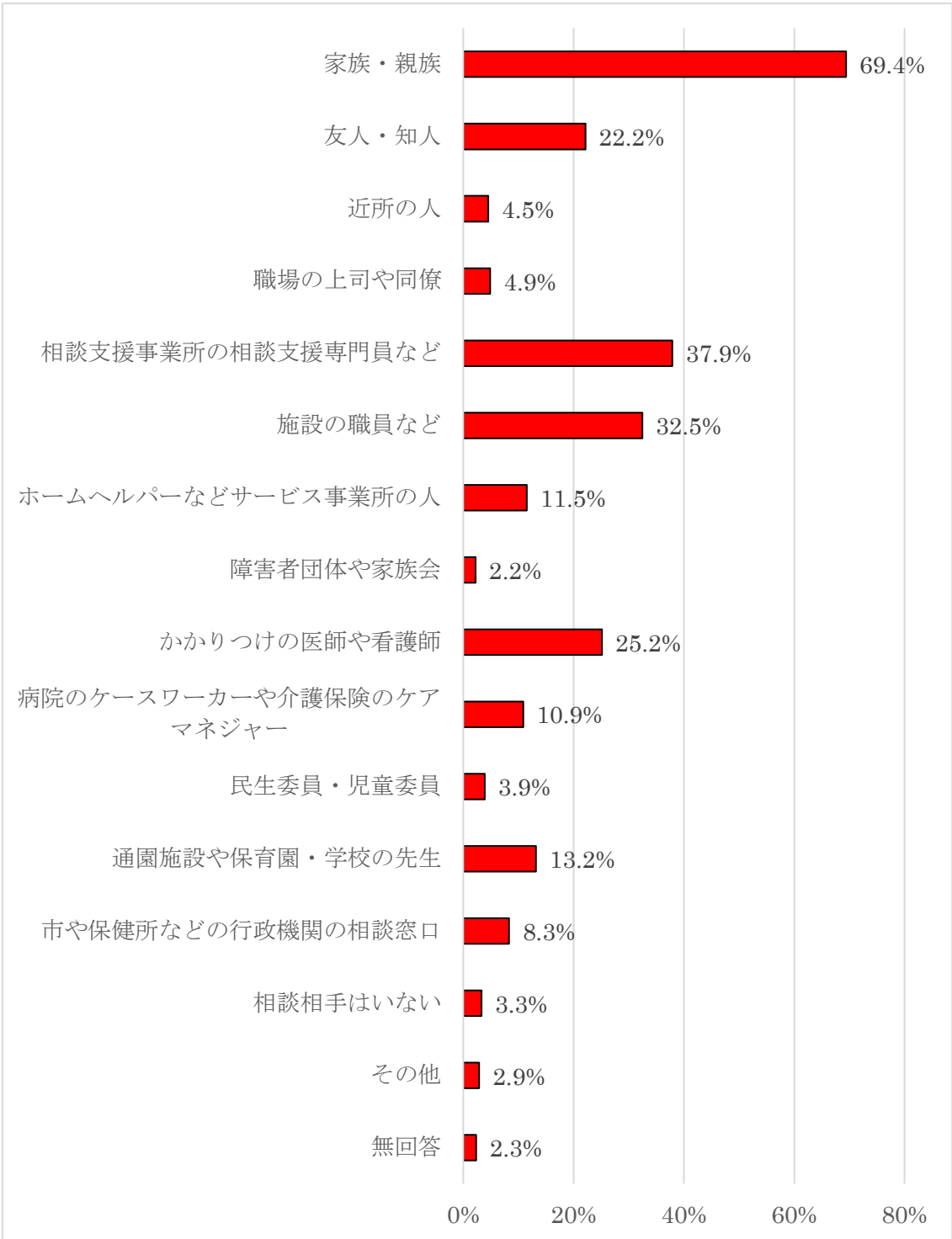
・「相談支援専門員」が最も多く、次いで「市の広報・ハンドブック」「学校・職場・福祉事業所」と続く。

問7 今後、福祉関連のどのような情報が必要ですか。(複数回答)



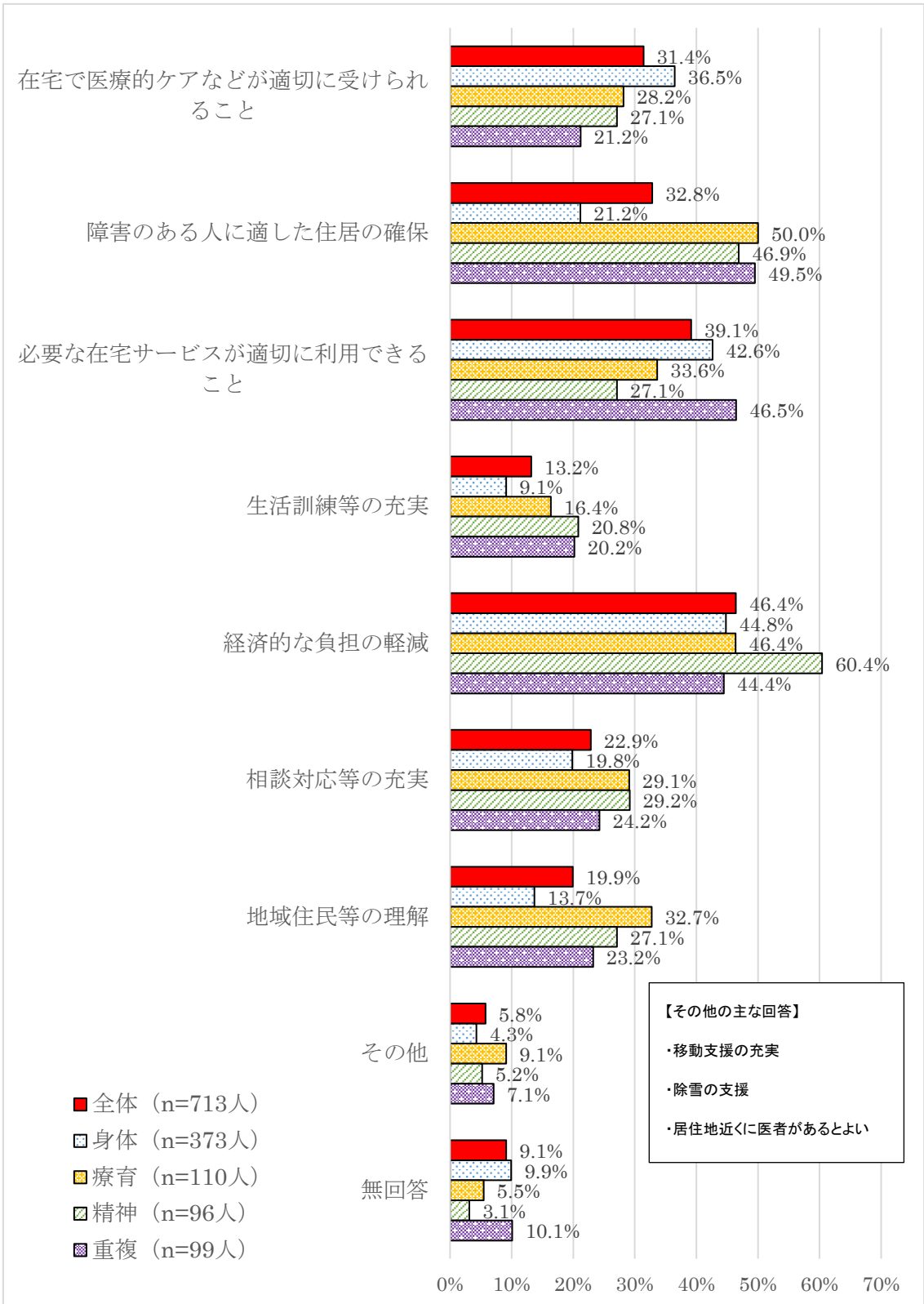
・「福祉サービスの種類や利用方法」が最も多く、「障害のある人の割引や助成制度」も50%超である。

問 8	相談相手は誰ですか？（複数回答）
-----	------------------



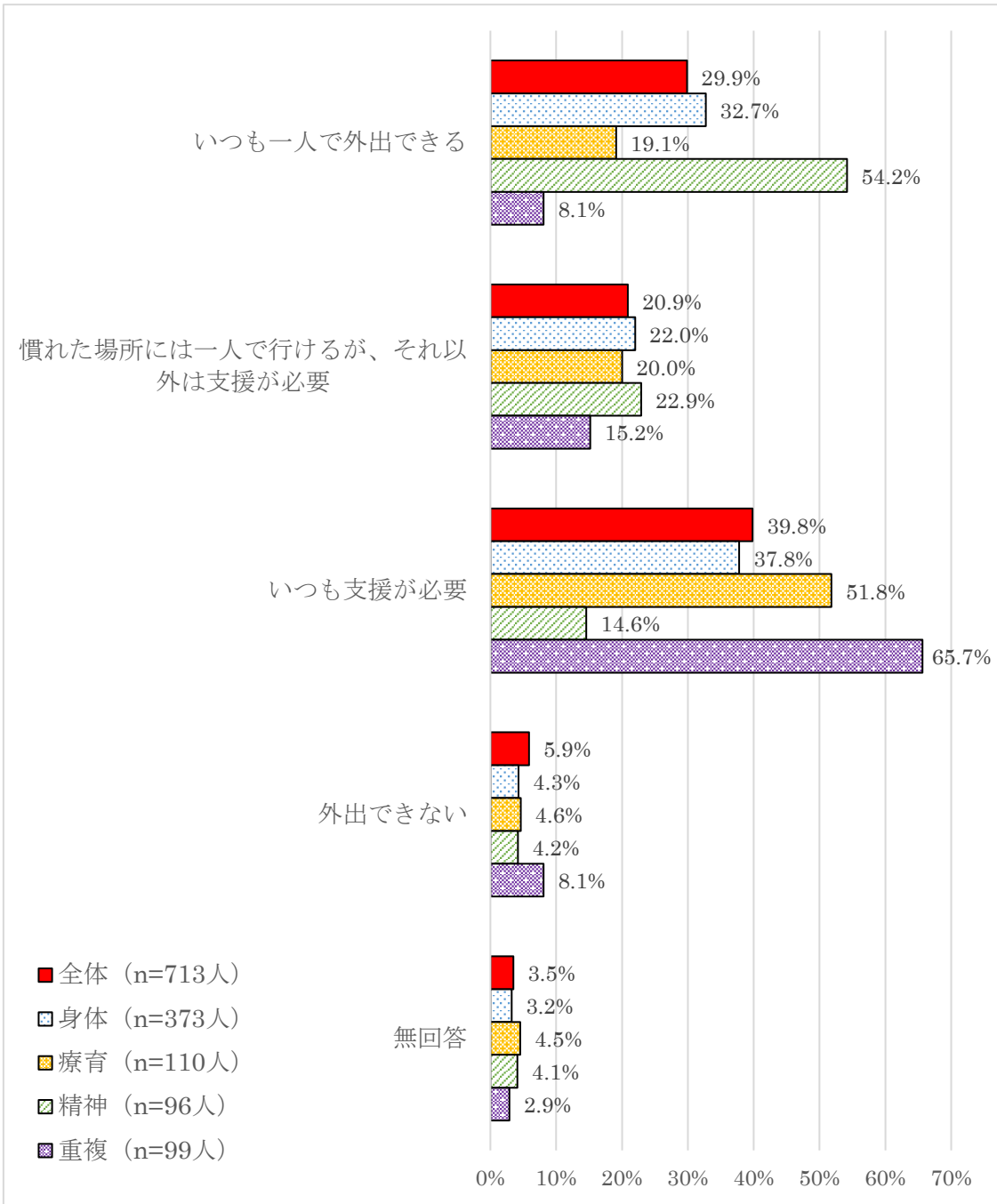
- ・「家族・親族」が最も多い。
- ・「相談支援事業所の相談支援専門員など」、「施設の職員など」も30%超である。

【18歳以上の方のみ回答】	
問9	地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。 (複数回答)



- 全体としては「経済的な負担の軽減」が最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が多い。
- 療育手帳、又は複数の手帳の保持者においては、「障害のある人に適した住居の確保」が約 50%で最も多い。
- 身体障害者手帳の保持者においては、「在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること」、また、療育手帳の保持者においては、「地域住民の理解」が 30%超である。

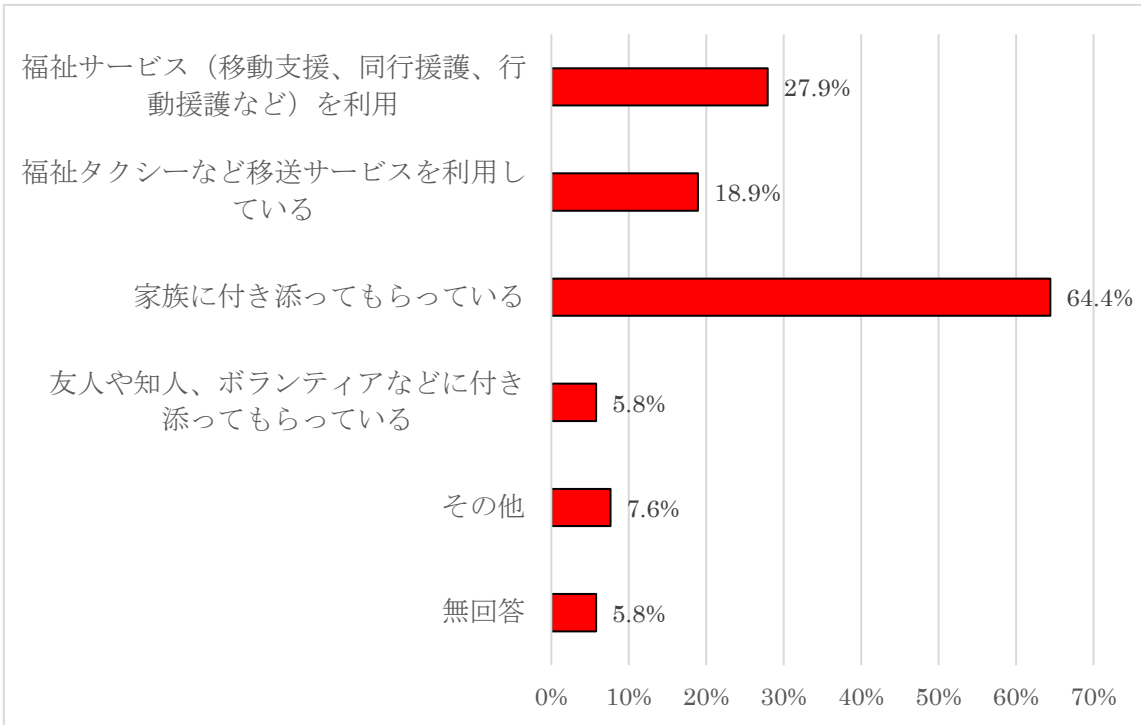
問 10-1 【18 歳以上の方のみ回答】  
あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。



- ・全体としては「いつも支援が必要」が 39.8%で最も多く、「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外は支援が必要」を加えると 60.7%である。
- ・精神障害者保健福祉手帳の保持者においては、「いつも一人で外出できる」が 54.2%で最も多い。

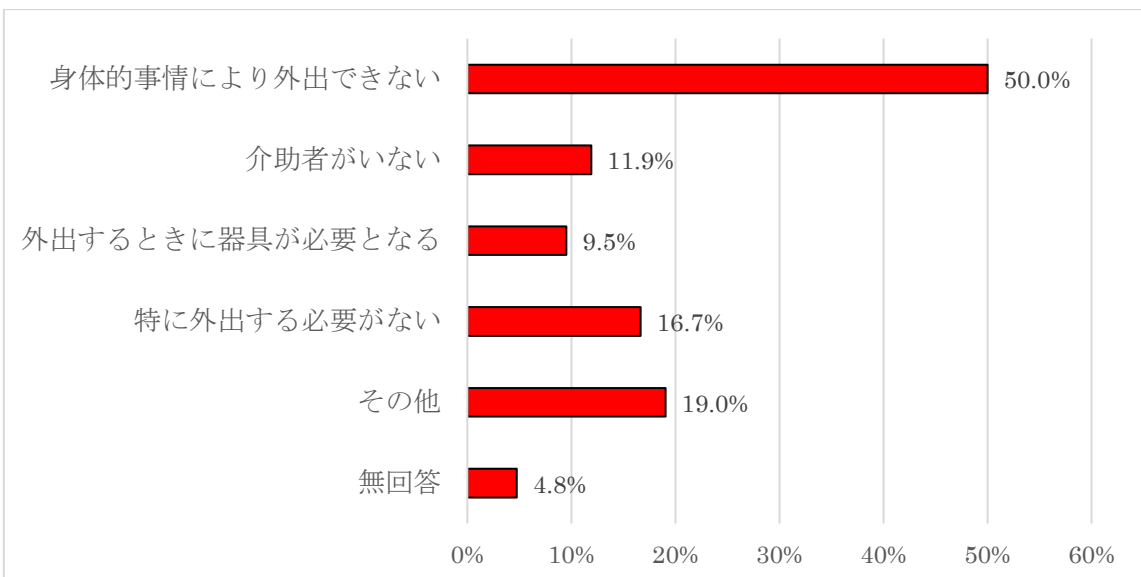


問 10-2 【問 10-1 で「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外は支援が必要」又は「いつも支援が必要」と回答した人 (n=433 人)】  
 どのように外出していますか。(複数回答)

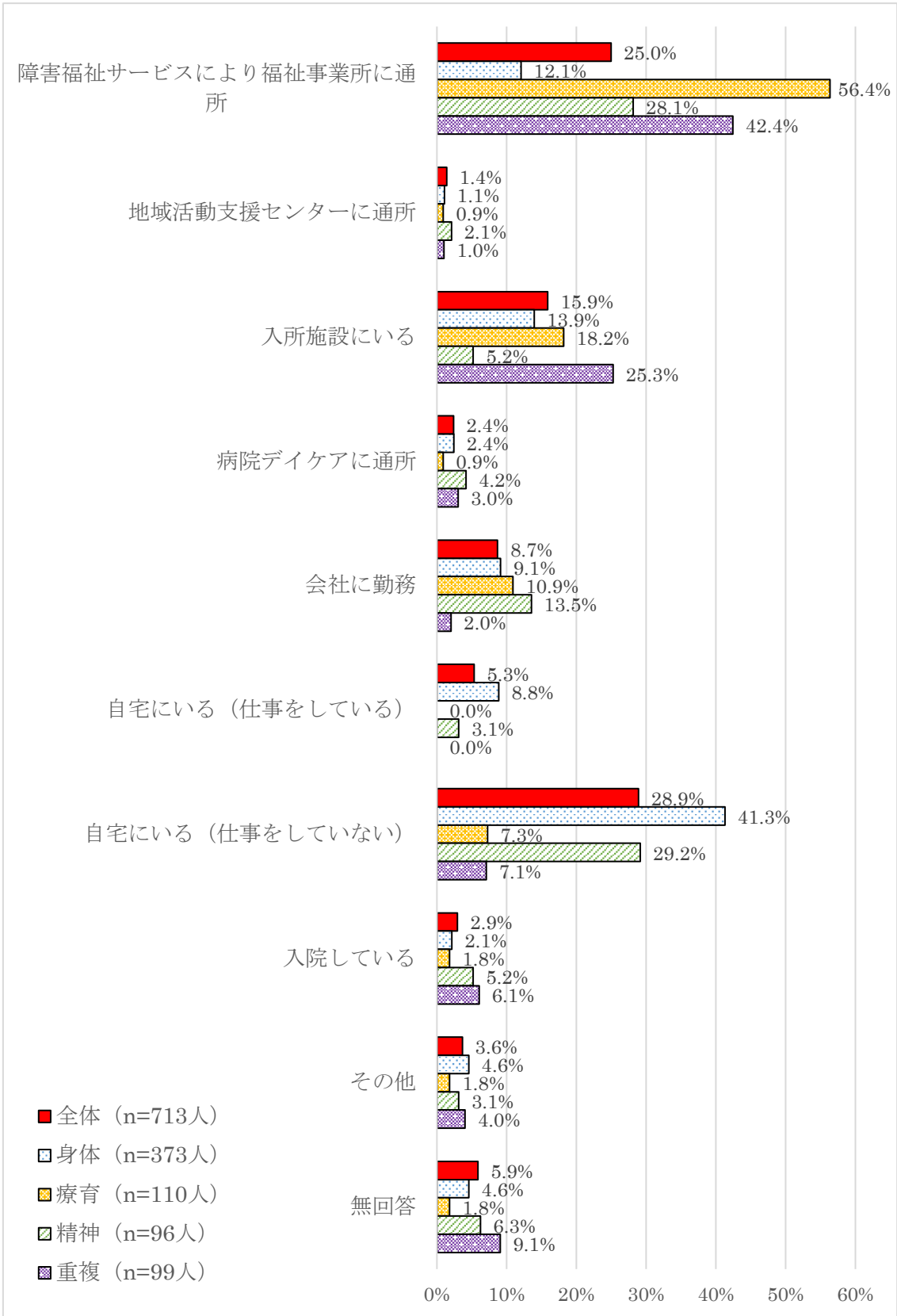


・「家族に付き添ってもらっている」が最も多く、次いで「福祉サービスを利用」が多い。

問 10-3 【問 10-1 で「外出できない」と回答した人 (n=42 人)】  
 外出できない理由。(複数回答)

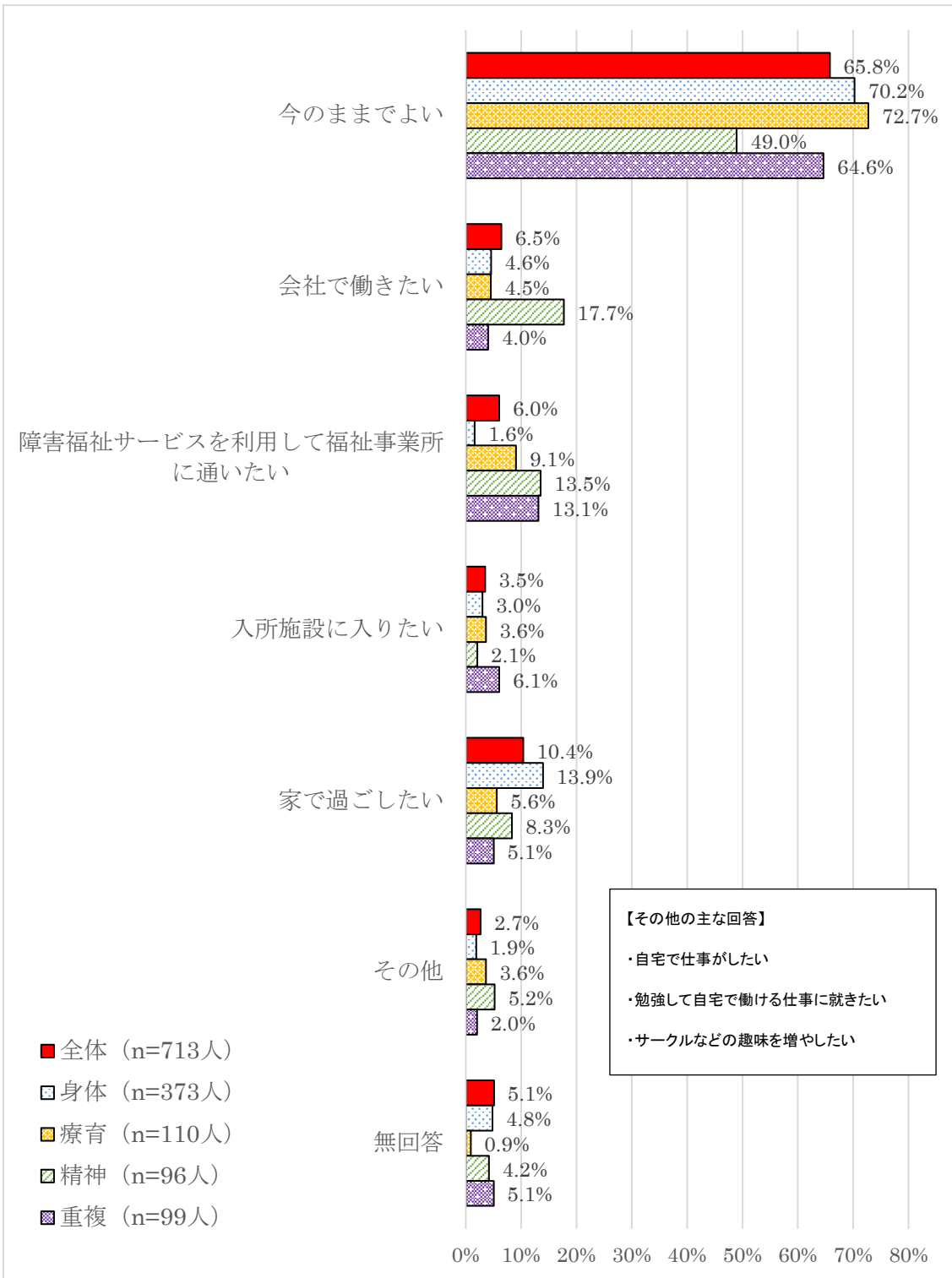


問 11 【18歳以上の方のみ回答】  
 平日の日中、あなたは主にどのようにお過ごしですか。



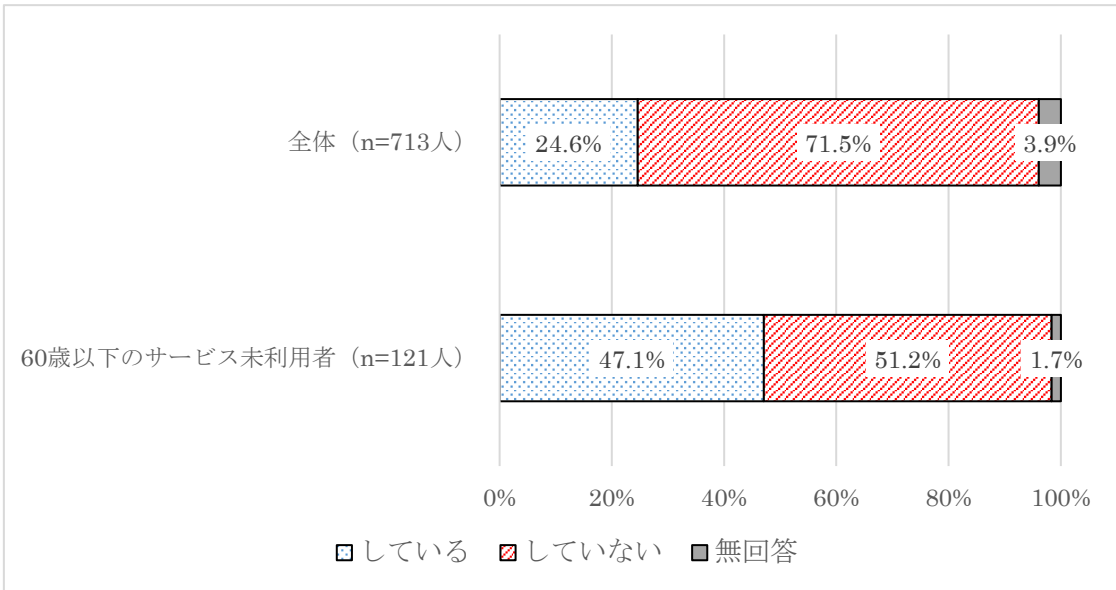
- 全体としては、「自宅にいる（仕事をしていない）」が28.9%で最も多く、次いで「障害福祉サービスにより福祉事業所に通所」が25.0%である。
- 療育手帳、又は複数の手帳の保持者においては、「障害福祉サービスにより福祉事業所に通所」が最も多く、次いで「入所施設にいる」が多い。

問 12 【18歳以上の方のみ回答】  
 今後、あなたは日中主にどのように過ごしたいと思いますか。

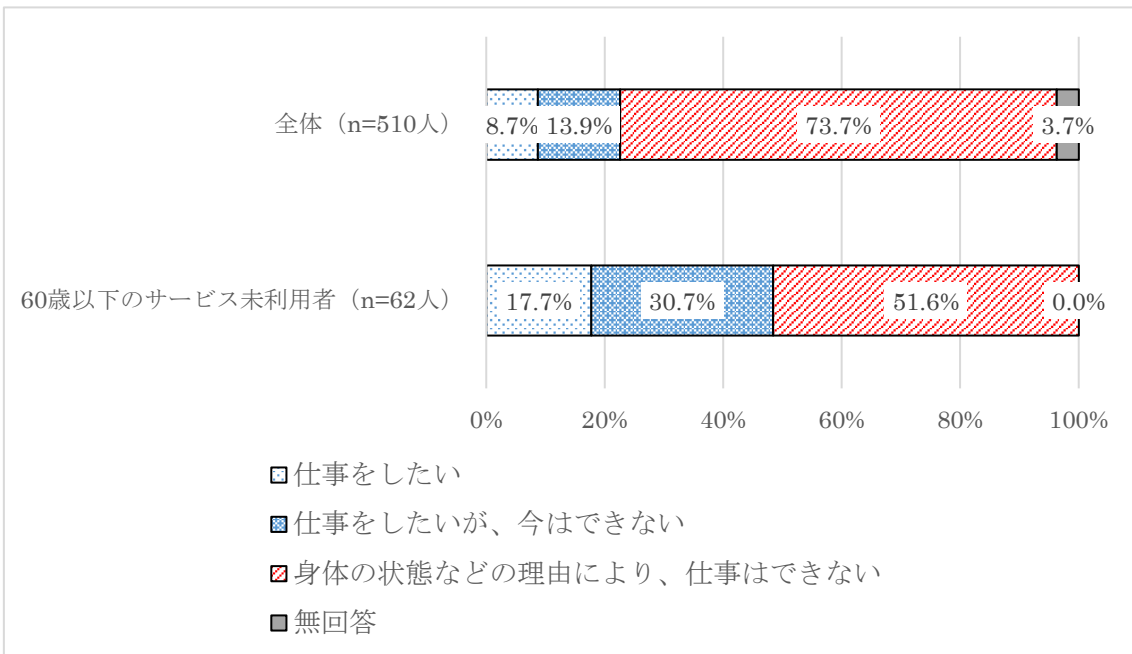


- ・どの障害種別においても「今のままでよい」が最も多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳の保持者は、他と比べて「会社で働きたい」が多い。

問 13-1 【18歳以上の方のみ回答】  
現在、あなたは自宅や会社などで仕事をしていますか。

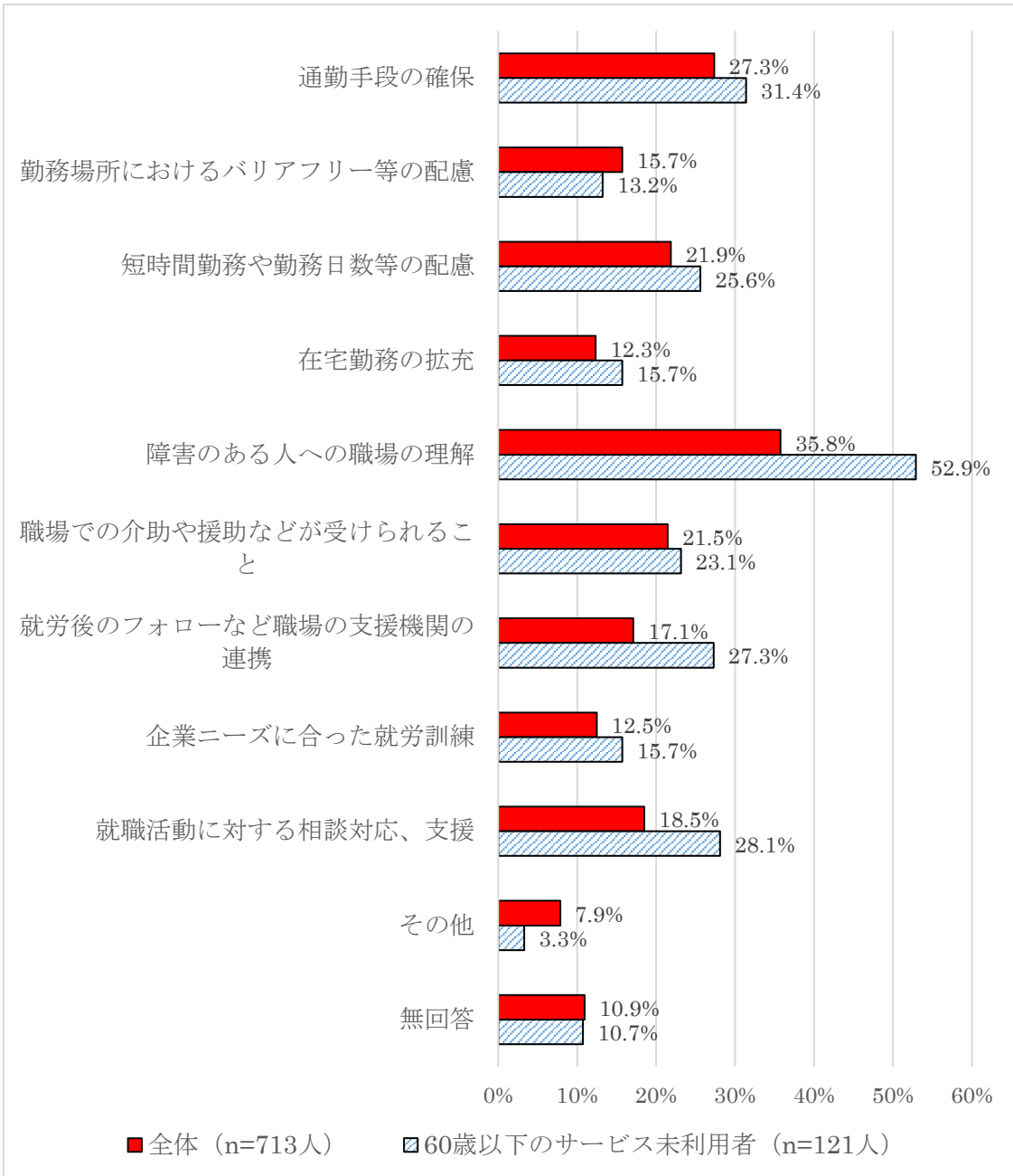


問 13-2 【問 13-1 で「していない」と回答した人】  
あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。



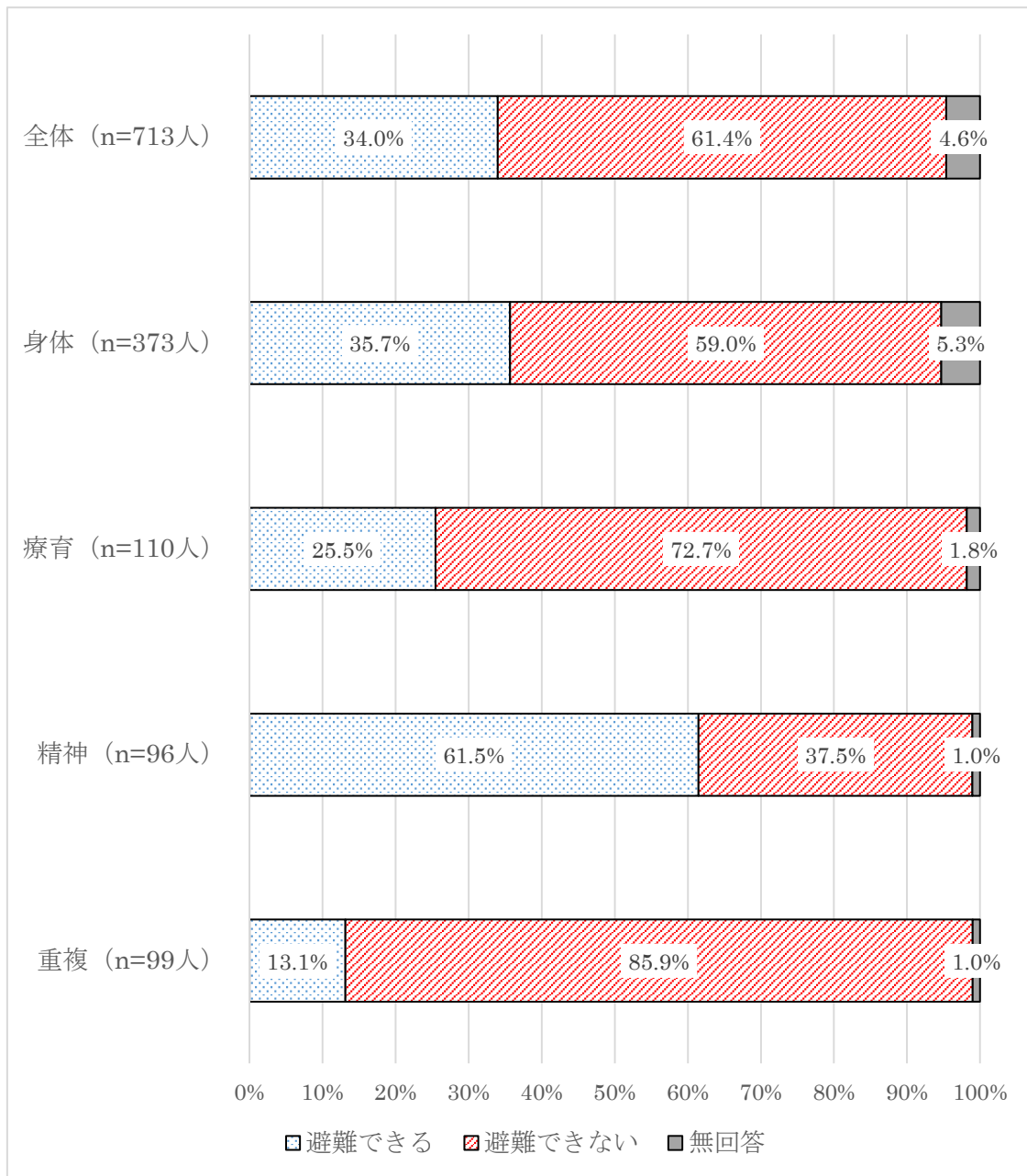
・60歳以下のサービス未利用者において、「仕事をしたい」「仕事をしたいが、今はできない」の合算値は48.4%である。

問 14	<b>【18 歳以上の方のみ回答】</b> あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答)
------	--



- ・全体及び 60 歳以下のサービス未利用者の両方とも、「障害のある人への職場の理解」が最も多く、次いで「通勤手段の確保」が多い。
- ・60 歳以下のサービス未利用者においては、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」「就労後のフォローなど職場の支援機関の連携」「就職活動に対する相談対応、支援」も 25% 超である。

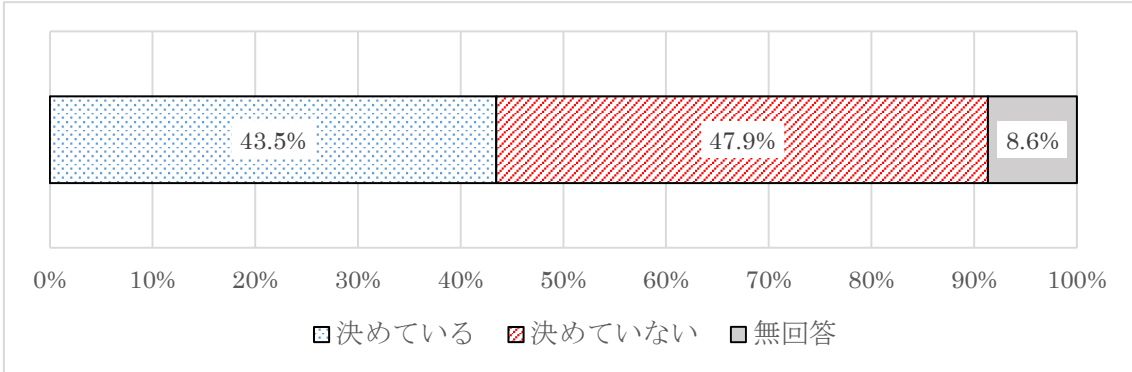
問 15 【18歳以上の方のみ回答】  
あなたは、火事や地震、洪水等の災害発生時に一人で避難できますか。



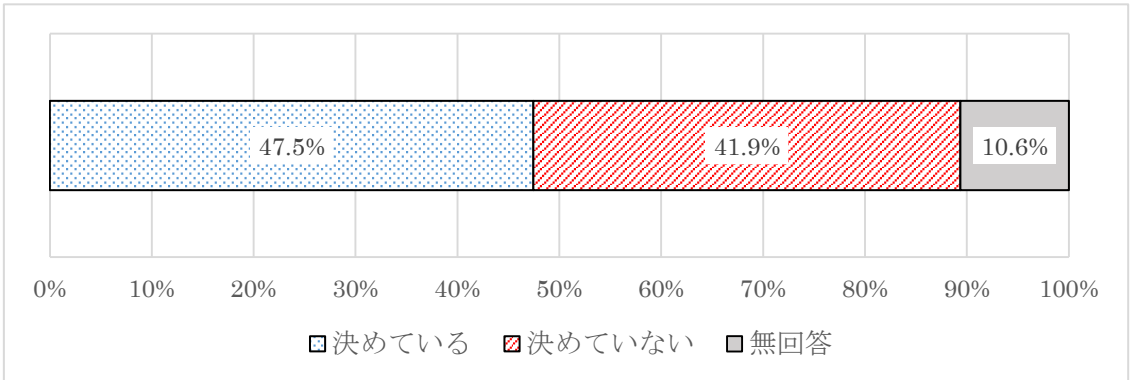
- ・全体としては、「一人で避難できない」が61.4%が多い。
- ・複数の手帳の保持者においては、「一人で避難できない」が85.9%もある。
- ・精神障害者保健福祉手帳の保持者においては、「避難できる」が61.5%が多い。

問 16 あなたは、災害発生時にどこに、誰と、何を持って避難するか決めていますか。

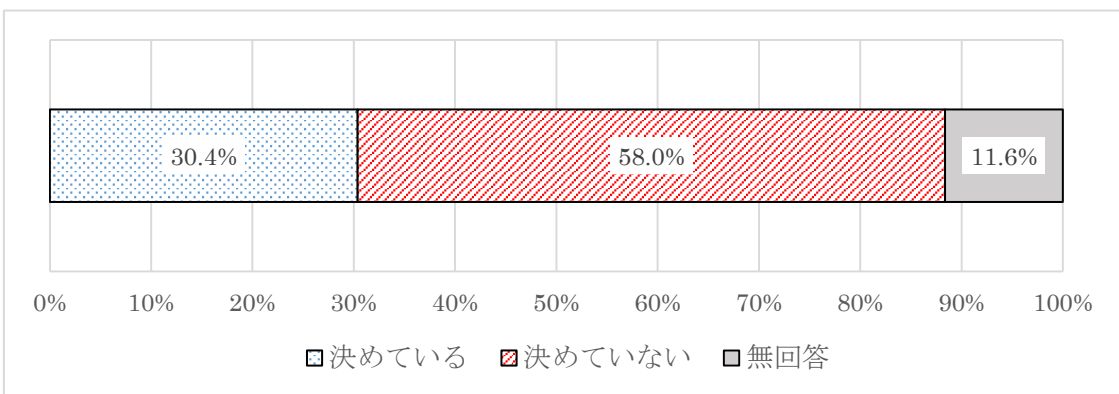
【どこに避難するか】



【誰と避難するか】



【何を持って避難するか】

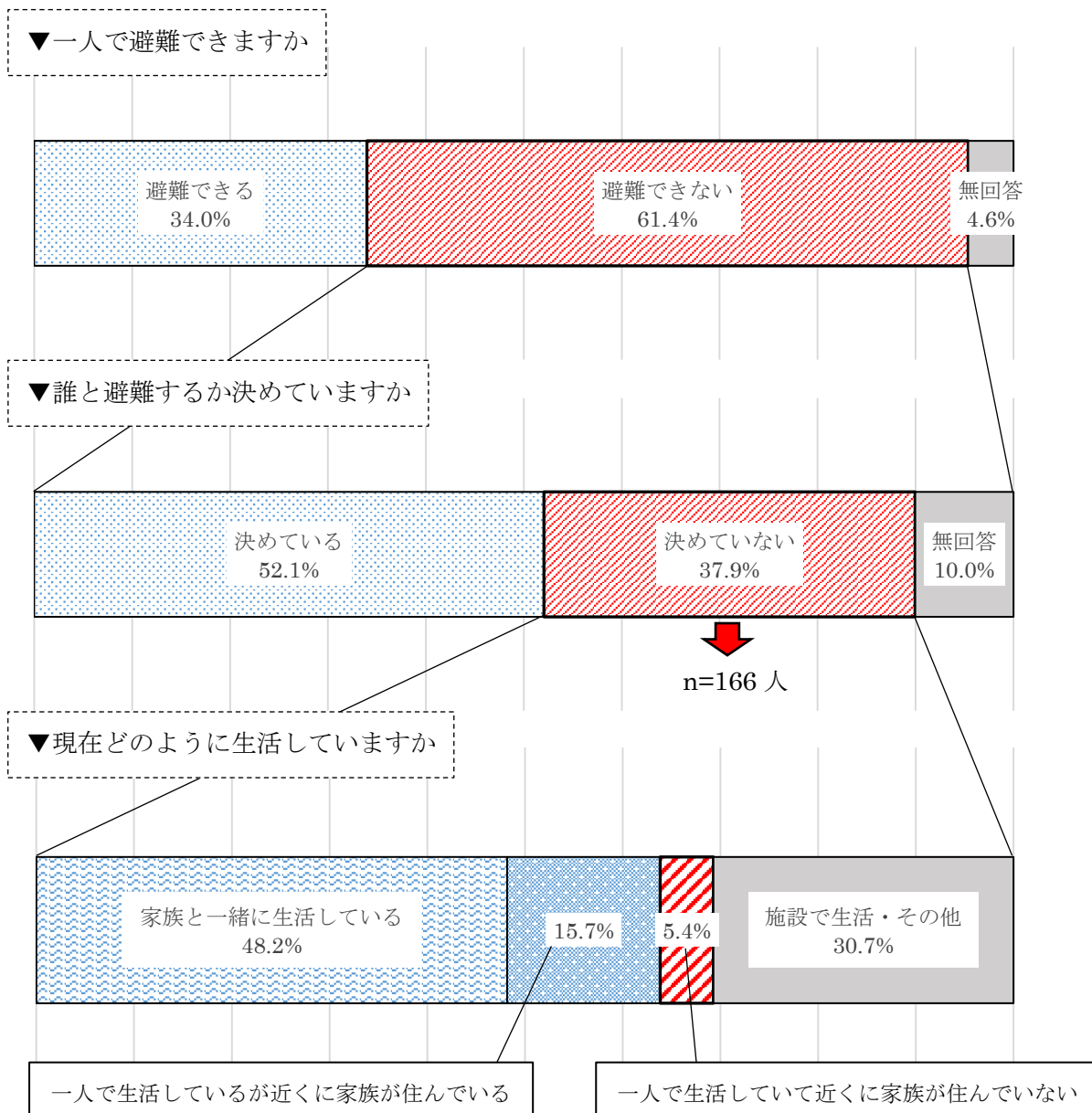


・すべて「決めている」と回答した人は21.5%である。



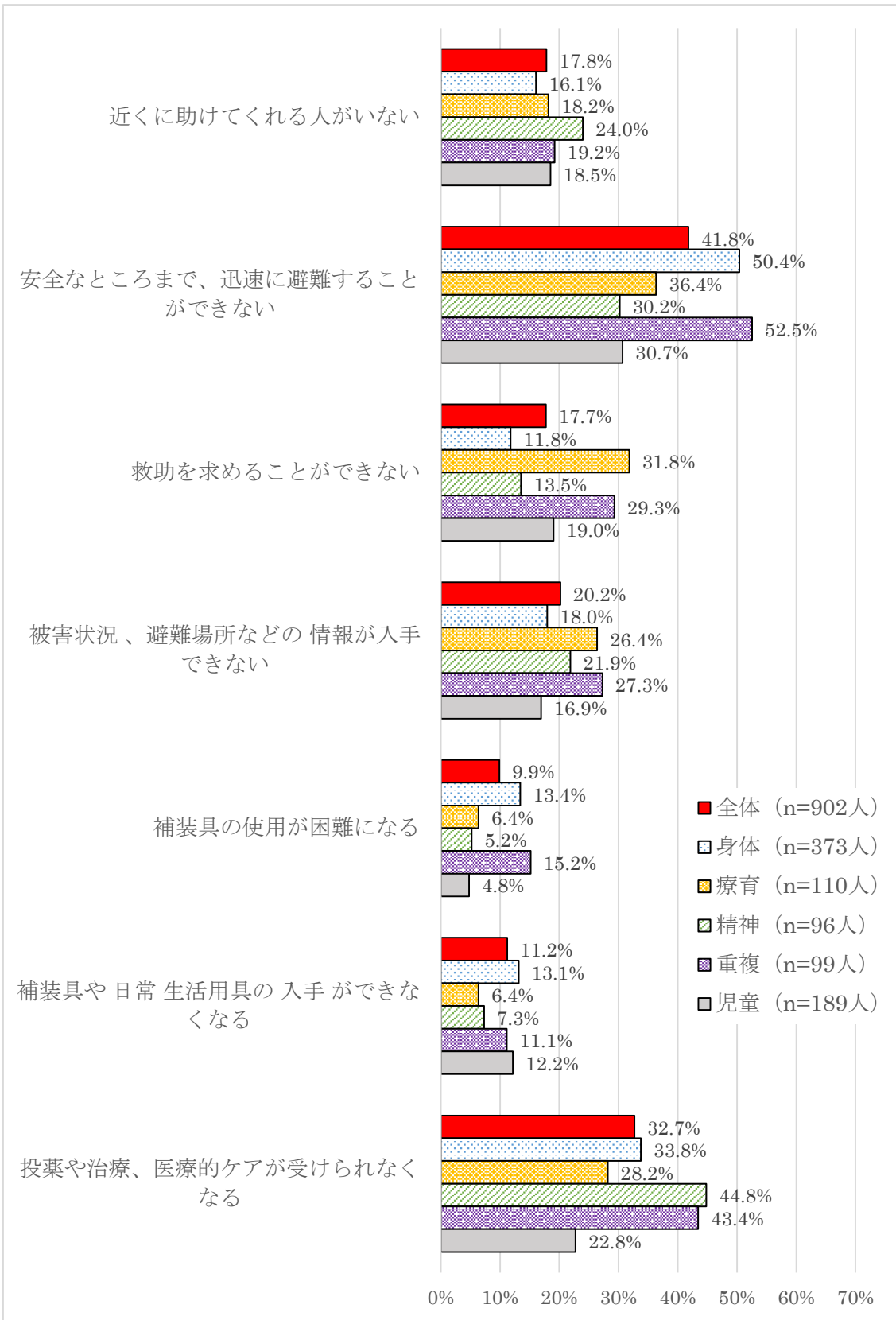
## 災害時の避難について詳細分析

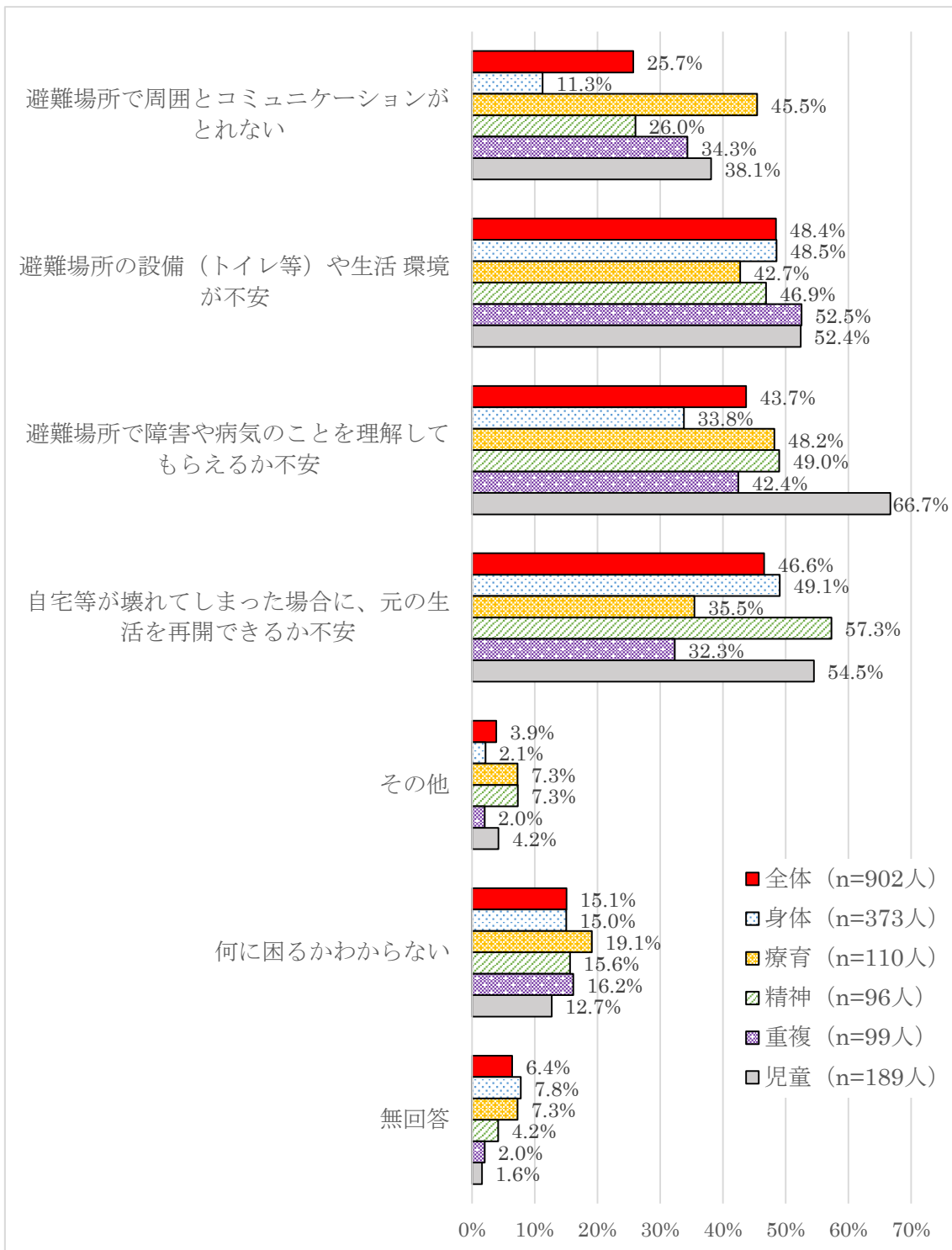
問 15 で「一人で避難できない」と回答した人のうち、問 16 で「誰と避難するか決めていない」と回答した人はどれだけいるのか。また、その人たちの生活実態の内訳。



- ・問 15 で「一人で避難できない」と回答した人のうち、問 16 で「誰と避難するか決めていない」と回答した人は 37.9% であり、そのうち「一人暮らしで家族が近くに住んでいない人」は 5.4% である。

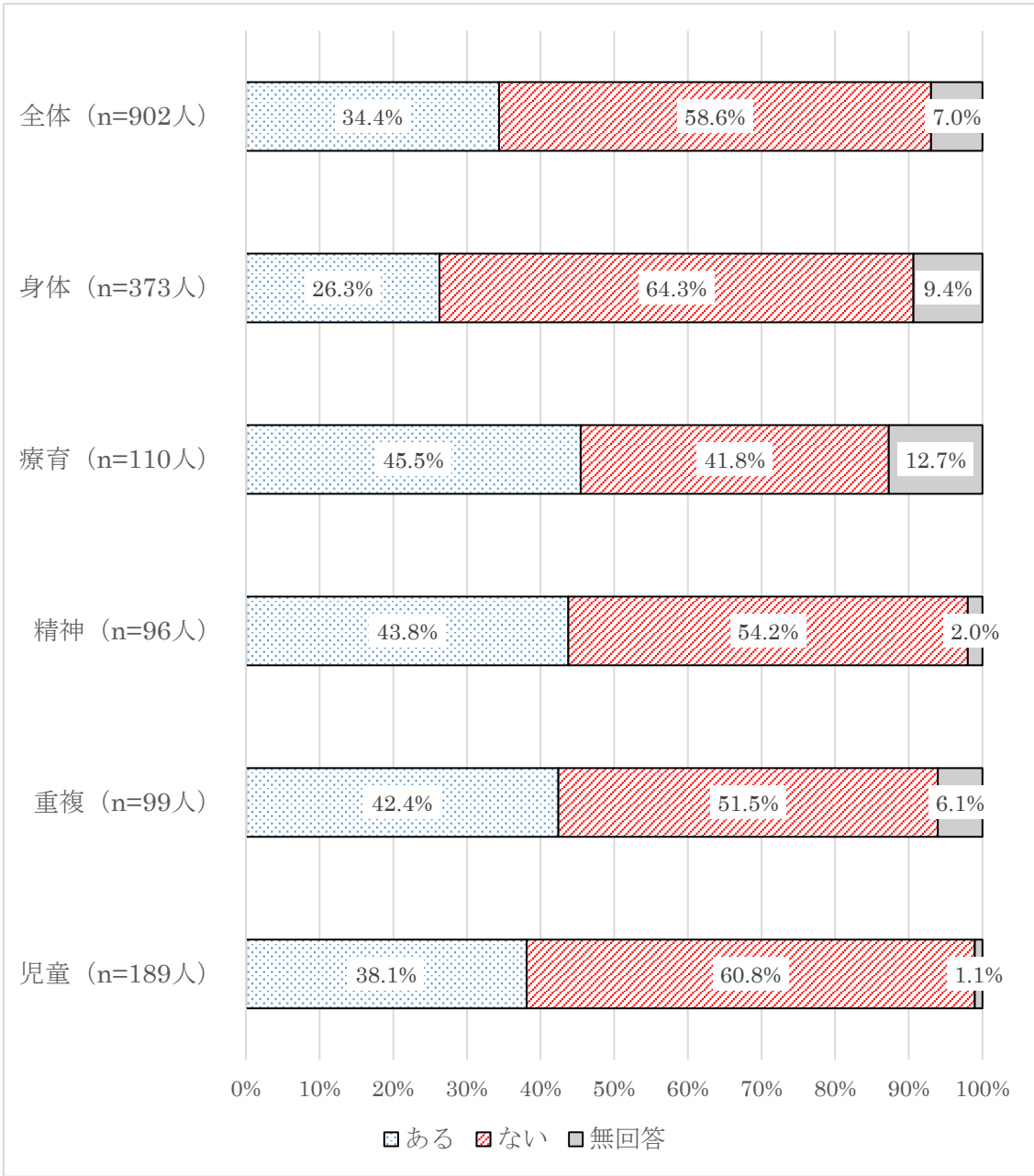
問 17 災害時に困ることは何ですか。(複数回答)





- 全体としては「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が最も多い。
- 身体障害者手帳、又は複数の手帳の保持者においては、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が50%超である。
- 療育手帳の保持者においては、「避難場所で障害や病気のことを理解してもらえないか不安」が最も多く、次いで「避難所で周囲とコミュニケーションがとれない」が多い。
- 児童においては、「避難場所で障害や病気のことを理解してもらえないか不安」が最も多い。

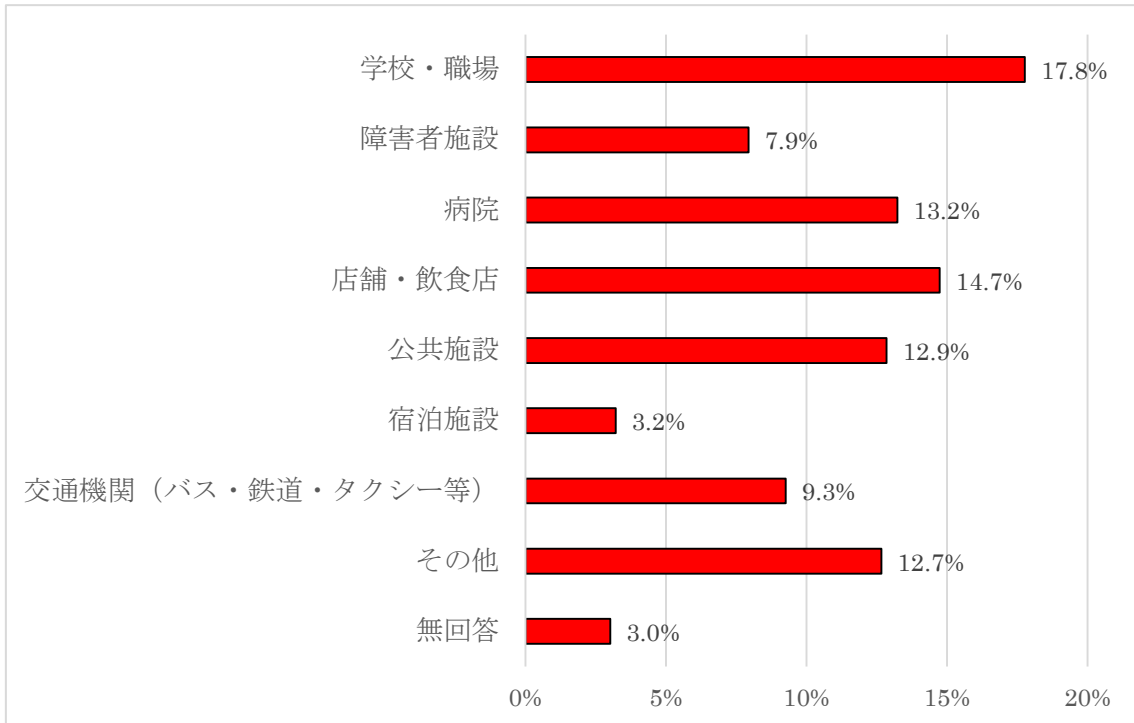
問 18-1 障害があることで、差別や嫌な思いをしたことがありますか。



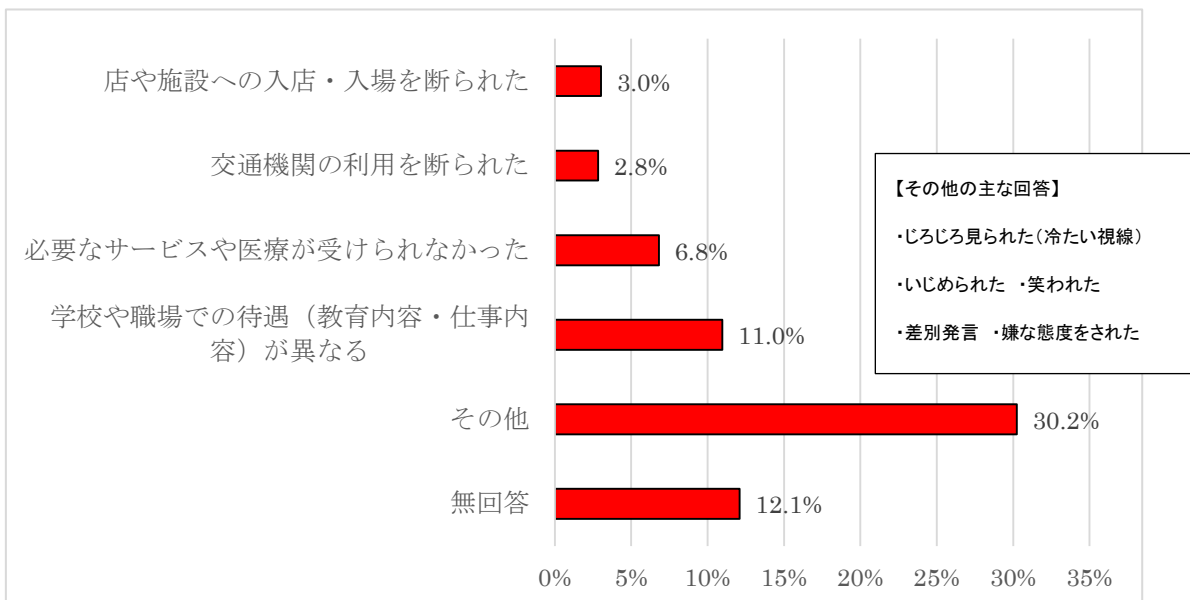
- ・全体としては「ない」が58.6%で多い。
- ・療育手帳の保持者においては、「ある」が45.5%で、「ない」を上回る。

問 18-2 【問 18-1 で「ある」と回答した人 (n=529)】  
 どこで、どのようなことでしたか。(複数回答)

【どこで】

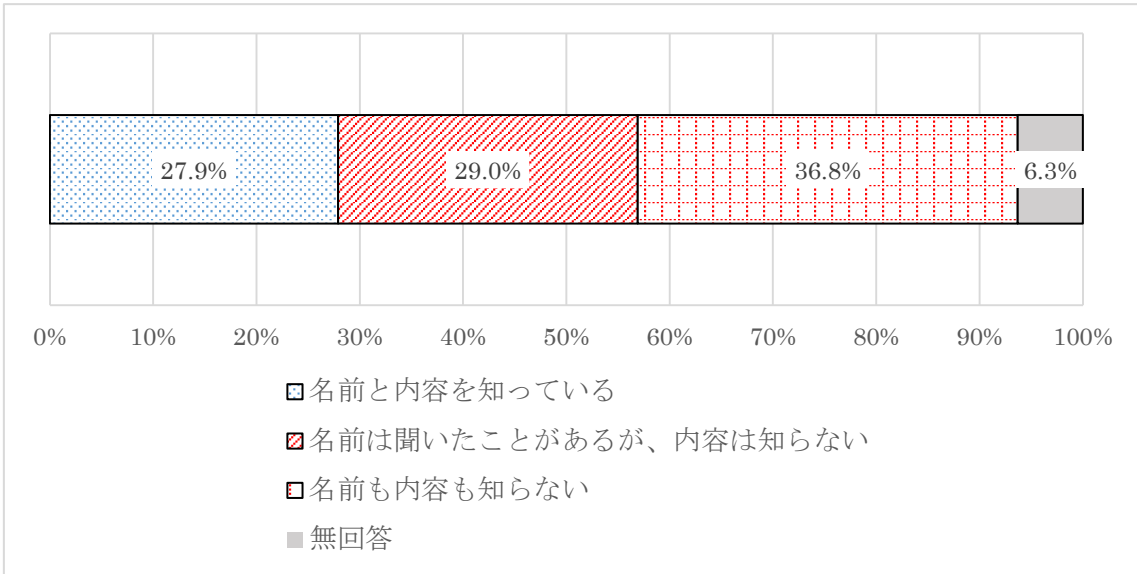


【どのようなこと】



- ・場所は「学校・職場」が最も多い。
- ・内容は「学校や職場での待遇が異なる」のほか、「その他」として、じろじろ見られた、笑われたなど態度によるものが多い。

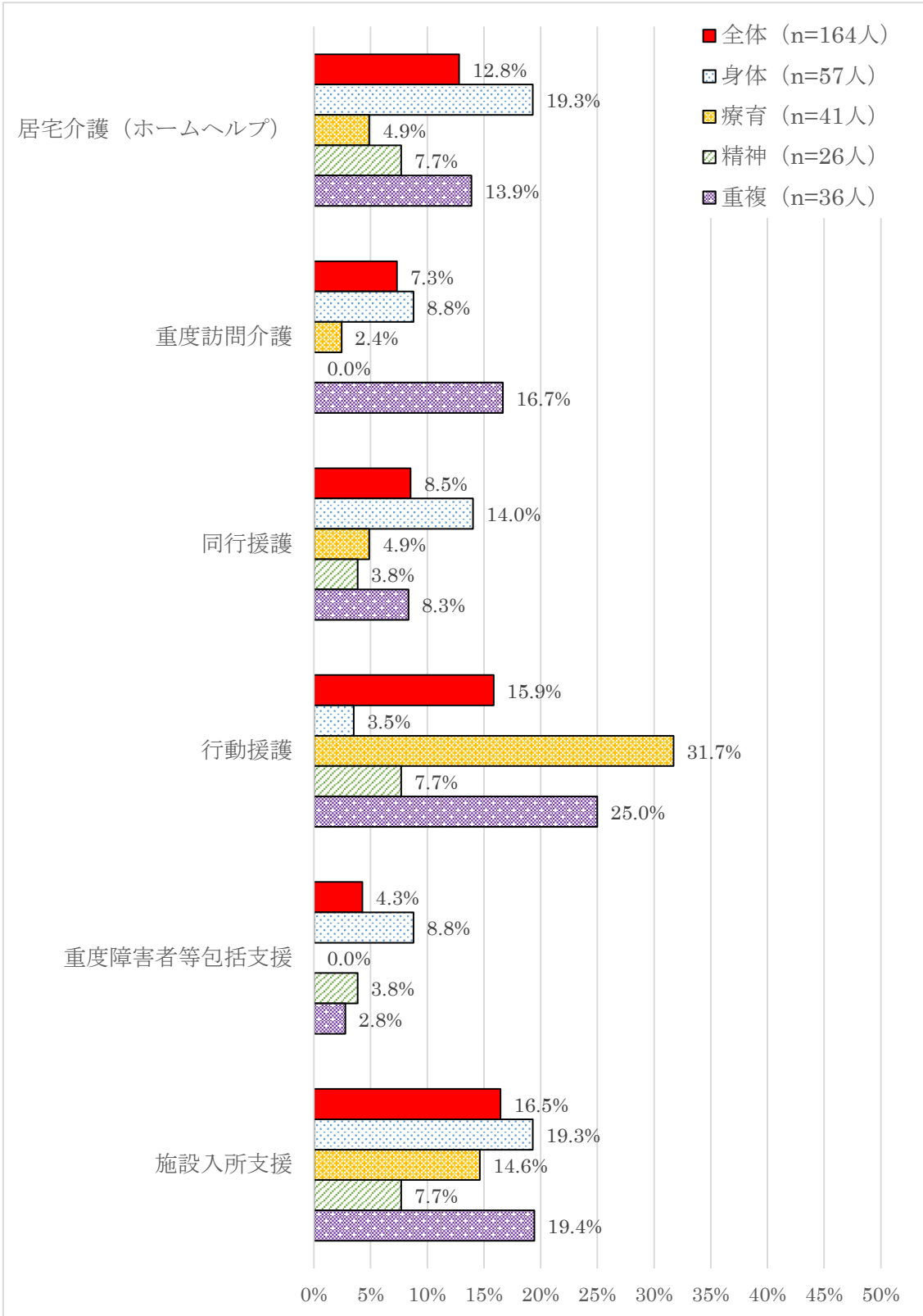
問 19 【18 歳以上の方のみ回答 (n=713 人)】  
成年後見制度についてご存じですか。

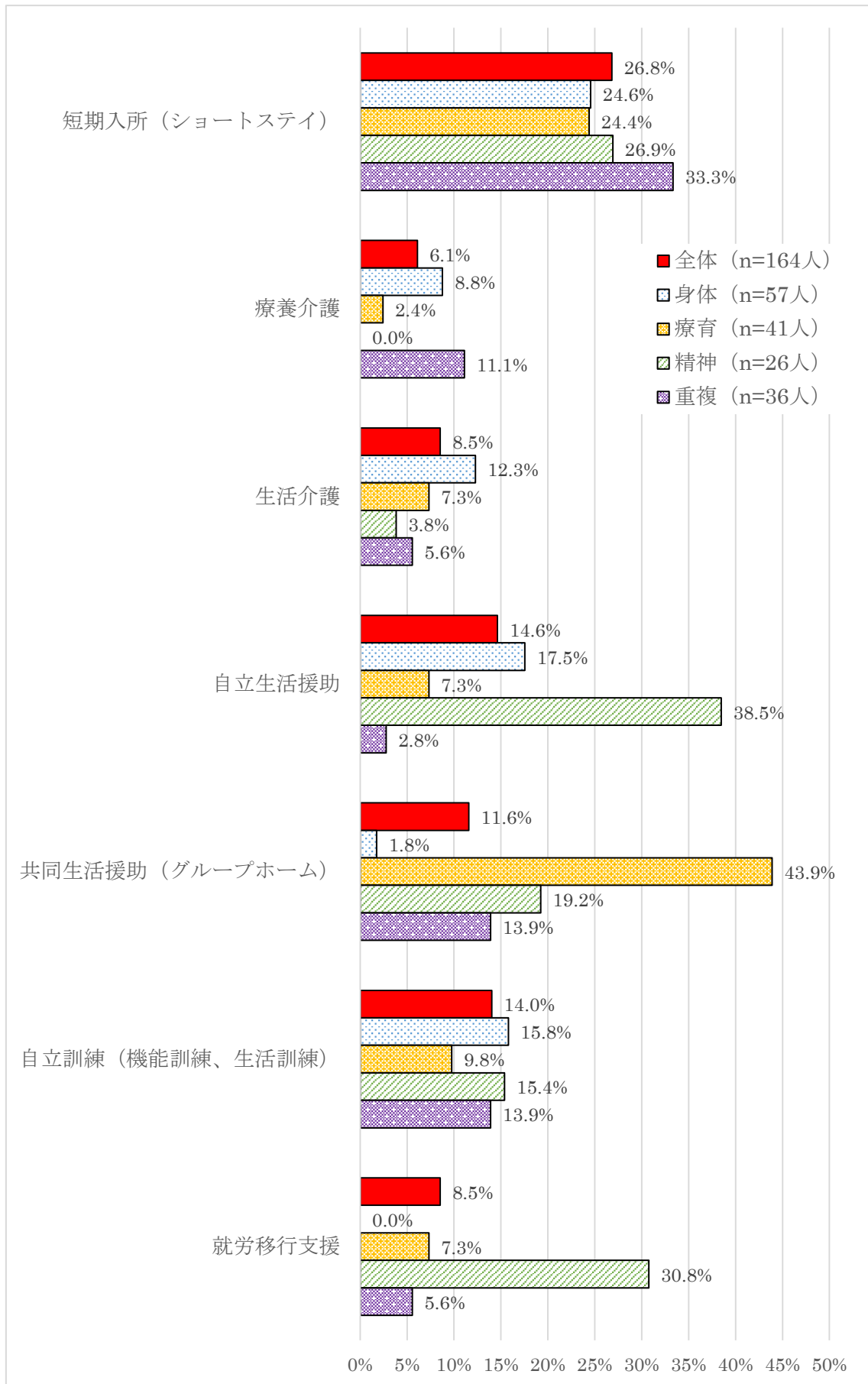


・「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」「名前も内容も知らない」の合算値は 65.8%である。

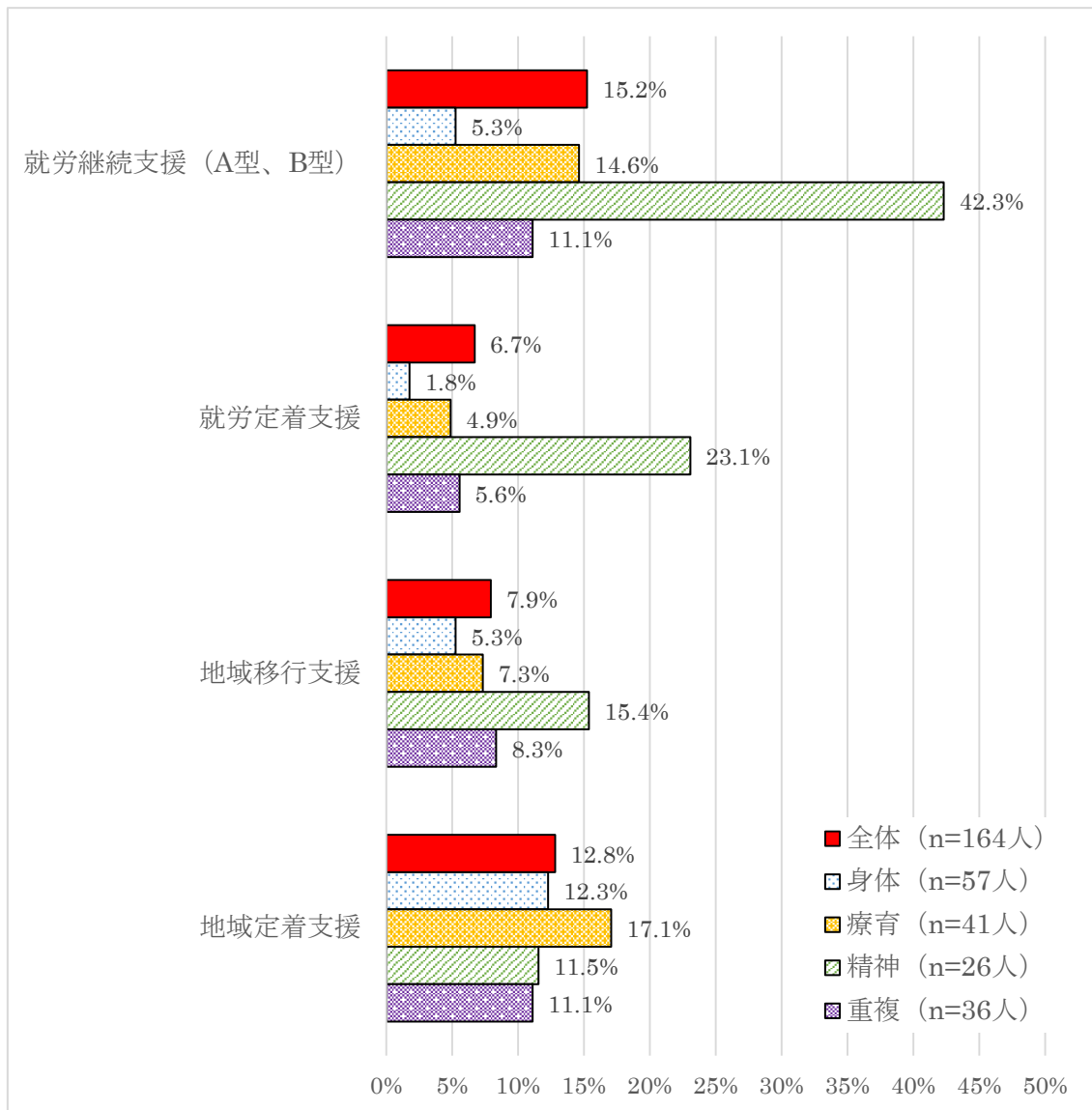
問 20 今後利用を増やしたり、新たに利用してみたいサービス。(複数回答)

【18歳以上の方の回答】



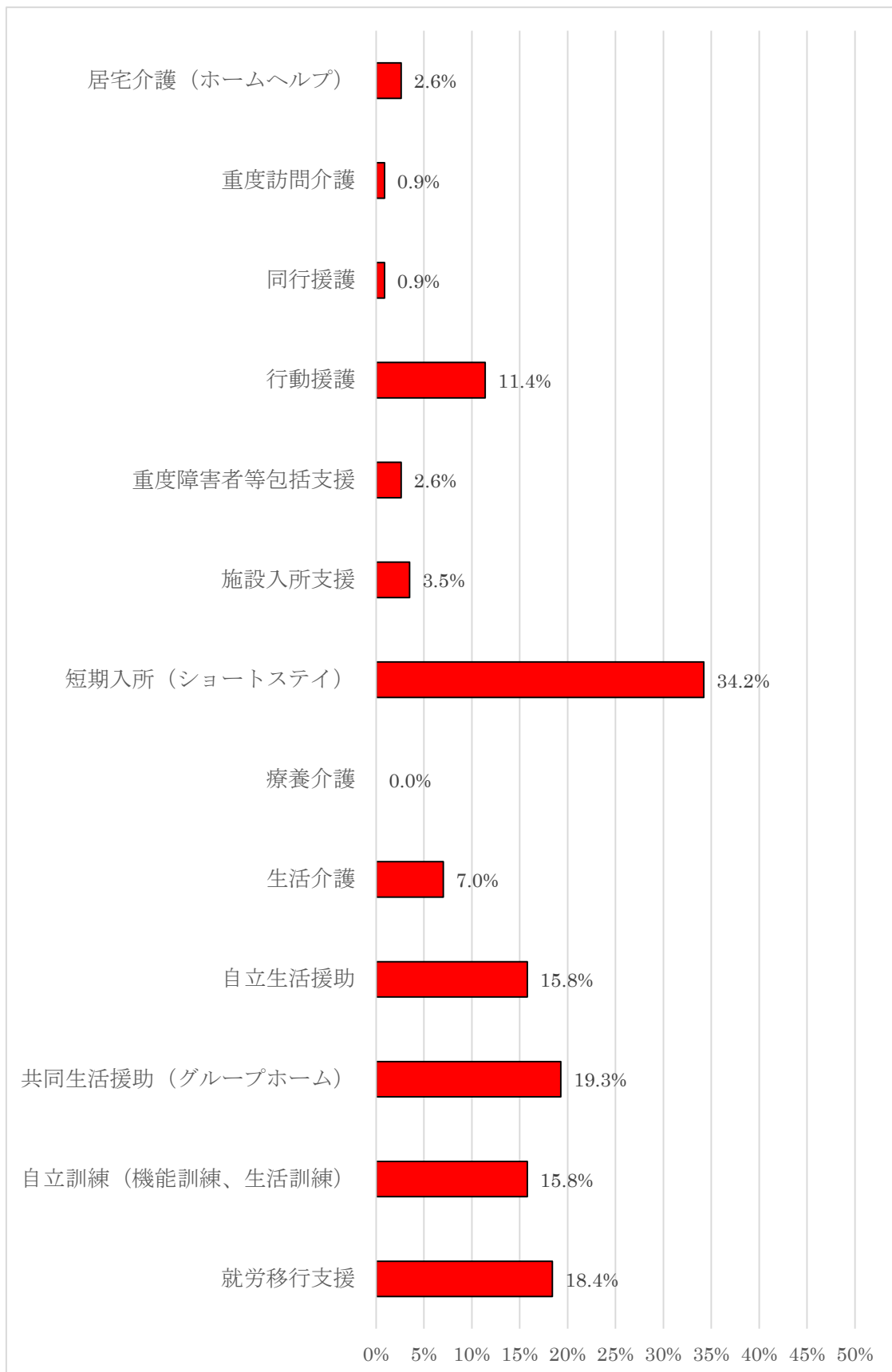


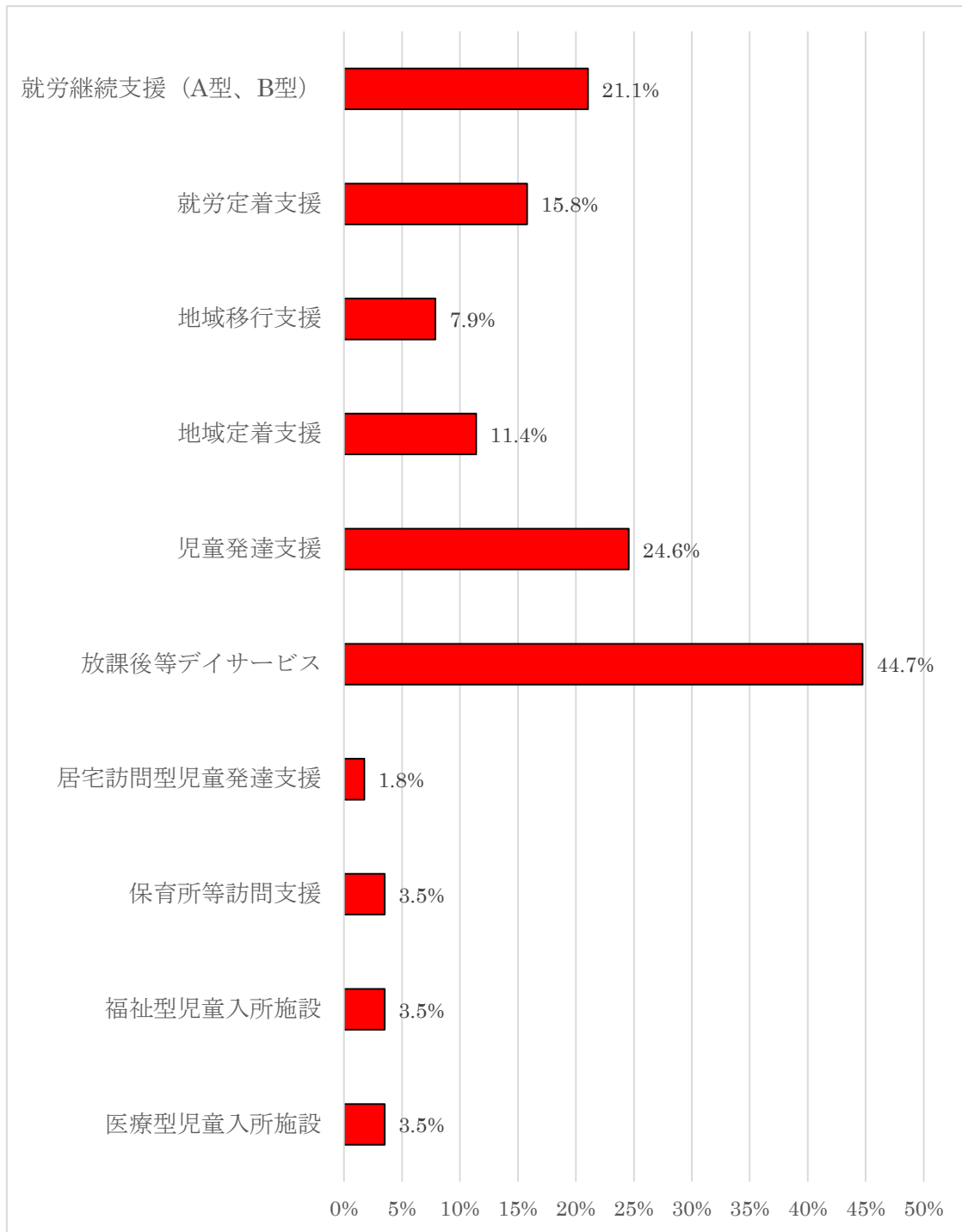




- 全体としては「短期入所 (ショートステイ)」が最も多く、次いで「施設入所支援」が多い。
- 療育手帳の保持者においては、「共同生活援助 (グループホーム)」が最も多く、次いで「行動援護」が多い。
- 精神障害者保険福祉手帳の保持者においては、「就労継続支援」が最も多く、次いで「自立生活援助」が多い。「就労移行支援」や「就労定着支援」についても、他と比べ割合が高い。

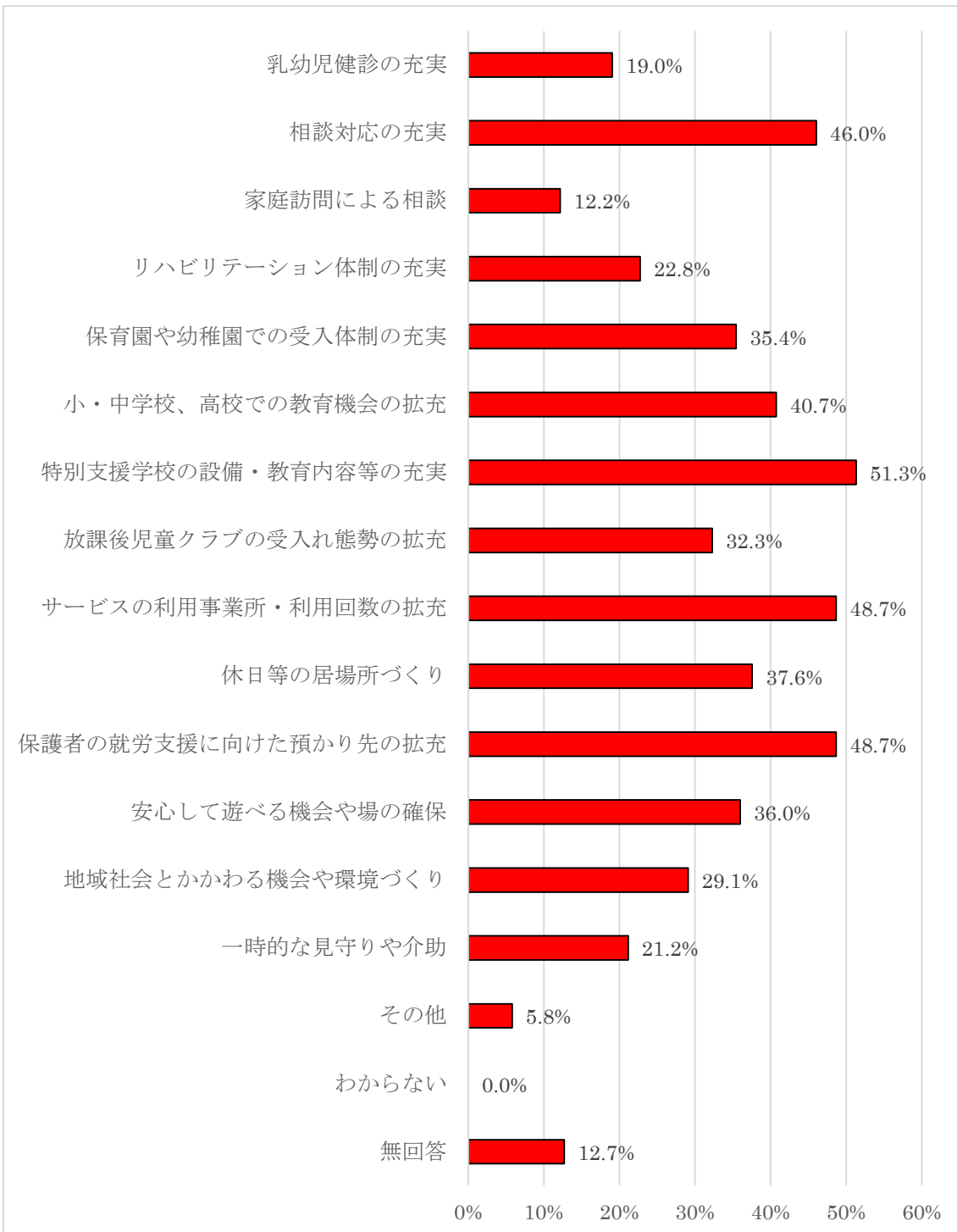
【障害児通所サービス利用者の回答 (n=114人)】





・「放課後等デイサービス」が最も多く、次いで「短期入所 (ショートステイ)」が多い。

問 21 【障害児通所サービス利用者のみ回答 (n=189 人)】  
 障害のある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。(複数回答)



- ・「特別支援学校の設備・教育内容等の充実」が最も多い。
- ・「相談対応の充実」「小・中学校、高校での教育機会の充実」「サービスの利用事業所・利用回数の充実」「保護者の就労支援に向けた預かり先の拡充」も 40%超である。

問 22	現在利用している障害福祉サービスについてご意見・ご要望（自由記載）
------	-----------------------------------

▼主な意見・要望

【18歳以上の方】

○支援体制

- ・医療的ケアが必要な人が使えるサービスの選択肢をもう少し増やしてほしい。
- ・重度知的障害、行動障害を起こしやすい発達障害者等、重い障害のある方たちのためのグループホームをもっと増設してほしい。
- ・強度行動障害を持つお子さんの親は、ショートステイで一息つきたいと思っても、受入事業所が少なく、疲弊しきっている。
- ・知的に近い発達障害者は、ショートステイを利用したくても、夜間もきちんと見ていただける環境の施設が少なく、月の利用日数は少なくなってしまう。
- ・障害の重さやヘルパーなどの人員不足でサービスはあっても利用できないものがあるので、必要な時に使える体制にしてほしい。
- ・事業所の人員が足りていないように思う。

○就労に関すること

- ・就労移行支援を受けているが、知識や能力の向上につながる訓練はほとんど受けておらず、一般就労に向けた支援ではないような印象である。
- ・高校卒業後、10年会社に勤務しているが、会社内で困ったときに、間に入っていたとき、話をしていただくと助かる。

○将来の不安

- ・現在、利用している施設が、今後、健康面や年齢が上がるなどで利用できなくなったときはどうしたらいいか心配。
- ・通所施設への送迎について、家族が高齢になり、できなくなったときが心配。

○移動

- ・現在、通っている施設は旧上越市内のみ送迎をしているが、13区でも送迎してもらえらるようになったらありがたい。
- ・災害で避難するときの移動が心配。
- ・同行援護について、他の自治体、地域で利用したい場合にその地域の事業者へ直接訪問して契約をしてほしいということであったが、自身の生活範囲内で契約できるようにしてほしい。

## 【障害児通所サービス利用者】

### ○家族の就労

- ・長期休み、デイサービスの時間が就労時間と合わず利用したくてもできない場合がある。延長料金が高いので利用するのを考えてしまう。
- ・放課後等デイサービスの長期休暇期間の開所時間を延長してほしい。または延長分の料金負担を減らしてほしい。
- ・放課後等デイサービスの事業所で支援学校への朝の送迎をやってほしい。共働きの両親の支援としてとても大事な問題。
- ・特別支援学校に通っているが、8時25分にならないと開門しないため、仕事に支障がある。

### ○支援体制

- ・放課後等デイサービスを利用しているが、圧倒的に事業所の数が少ない。
- ・市内における医療的ケア児対応の児童発達支援・放課後等デイサービスが少なく、競合によるサービスの質向上にはつながっていないと感じる。複数あることで、利用児・保護者の選択肢の拡大に加えて、選んでもらえる事業所づくりにも本腰が入ると思う。
- ・柿崎、吉川、大潟で児童を見てもらえる事業所が少ない。直江津方面まで通って利用していたが、遠くて送迎もしてもらえないため、結局家族の負担が増えることになる。
- ・生活介護や就労継続支援事業所が定員いっぱいになりつつあると思うので、新しい事業所ができていくといいと思う。
- ・公共交通機関を利用しやすい場所でのグループホームを増やしてほしい。

### ○情報

- ・福祉サービスのことはこちらから発信しないと全く教えてくれない。受給者証や手帳を受け取った時に、詳しく教えていただきたい。
- ・サービスについて、文字や言葉で説明いただいても、なかなかイメージしづらいものもあり、子どもに将来的に何が使えるのか、判断できないと感じている。
- ・サービスを知る機会が人によってバラバラなので、もっと困っている方に情報を広めてほしい。

### ○その他

- ・現在、学校に通い、週に何回か放課後等デイサービスを利用して、今はとても満足だが、卒業後がとても心配。
- ・就労の選択肢が少なく、学校でも事業所への実習ばかり進められ、個性に合わせた民間企業へのチャレンジができない。障害のある子の得意分野を未来へ生かせるマッチング機能を福祉の力でお願いしたい。

問 23	その他、ご意見・ご要望（自由記載）
------	-------------------

▼主な意見・要望

【18歳以上の方】

○バリアフリー

- ・学校等公共施設へのバリアフリー化が進んでおらず、アクセスしにくい場所が市内にとっても多い。特に学校等の災害時に避難所になっている場所ですらスロープやエレベーターがないため、車いすユーザーが利用できないことは大きな問題である。早急に設置を検討すべきである。

○手続きの簡略化

- ・個人情報提供書など各施設でそれぞれ様式があり、同じ内容のことを何枚も記入しなくてはならない。すべての施設で統一様式にしていきたい。
- ・自立支援医療や障害者手帳の申請の際の書類の数が多いので、もう少し減らしていただきたい。
- ・色々な申請が、一度にできないため、何度も市役所へ行かなければならないことが不便。
- ・市から送られてくる書類の内容が難しいのでわかりやすくしてほしい。

○災害時の不安

- ・災害時の町内会の支援体制が確立されていない。特に支援者が少なくなる日中の体制、冬場の豪雪時の体制、夜間における災害時の対応等、身の回りの環境が変化する中、自分で自分を守りきれるか心配である。
- ・障害者の災害時の対応を現実的なものにしてほしい。

○就労

- ・とにかく就職先を増やしてほしい。人手不足の中でもっと障害者を雇用できる環境・雰囲気を作ってほしい。
- ・障害のことをもっと周り、特に職場の人たちが理解できるような支援をしてほしい。

○その他

- ・他自治体において日常生活用具にタブレットが追加されている。活字文書読上げ装置や拡大読書器の代わりになるということで、時代にあわせた見直しを行ってほしい。

## 【障害児通所サービス利用者】

### ○経済的支援

- ・オムツの申請をしているが、体が大きくなりオムツのサイズが大きくなると、オムツの値段がかなり高くなり、上限を超えてしまう。上限を上げてほしい。
- ・発達グレーゾーンだと、何も支援がないので、支援があると助かる。ひとり親なので、子どもがグレーゾーンの中、施設への送迎に伴い仕事を休むので生活に支障がでてくる。

### ○バリアフリー

- ・多目的トイレはたくさん増えているが、オムツ替えができる大きいベッドがほしい。

### ○交流、情報交換

- ・発達障害や障害のある子どもが、他人の目を気にすることなく、安心して遊んだり、親同士が相談しあえる環境を作って頂きたい。
- ・コロナ禍で開催されなくなった事業所紹介や事業所が集まっての物販イベントの再開を望む。卒業後のことを考えている人に、事業所等の情報を知る機会がすごく無くなっている。
- ・日常的な交流を通じて、子どもからお年寄りまで、様々な年代の色々な人が障害について知る機会があれば、平等な世の中になるのではないかと思う。
- ・親なき後のことを見据え、今からどのような準備を進めていったらよいか学べるセミナーや随時相談できる場所があると心強い。

### ○支援体制

- ・上越市は相談員の人数が不足していると聞いた。相談員が一人で抱える件数は多く、業務も多岐にわたると思っている。人材を集めたとしても一人前になるまでには時間が掛かるので人材不足になる前に人員の確保をお願いしたい。
- ・病院・リハビリ施設・入所施設・日中預かりの施設が一緒の場所にあつたらいいと思う。今は通院に長岡・新潟・長野などに通っている保護者の方が多いと思うが、上越市でそれが出来たら本当に助かると思う。
- ・医療的ケア児のショートステイ利用は、とてもハードルが高く、受入が難しい所が多い。利用できたとしても市外であったり、家族と離れた距離だと緊急時に駆けつけるのが遅れるなど不安もある。